

米原市民意識調査

【平成 28 年度報告書】

平成 28 年 10 月



米原市

目 次

1	調査概要.....	1
	（1）調査概要.....	2
	（2）報告書の見方	2
2	調査結果.....	3
	あなたご自身のことについて、お伺いします。	4
	まちづくり全般についてお伺いします。	10
	「1. 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち」に関する設問です。	15
	「2. 市民の絆で築く心と体の健康なまち」に関する設問です。	17
	「3. 田舎都市が魅せるいやしのまち」に関する設問です。	22
	「4. 災害に強く生活が便利なほっとするまち」に関する設問です。	23
	「5. 地の利を活かしたにぎわいのまち」に関する設問です。	29
	市民主権による都市経営（協働のまちづくり推進）についてお伺いします。	32
	次代に引き継ぐための都市経営（行財政改革の推進）についてお伺いします。	33
	顔の見える都市経営（情報の共有）についてお伺いします。	35

1

調査概要

(1) 調査概要

【調査の目的】

米原市のまちづくりや都市経営などについて市民の意見を伺い、市民の市政に対する評価、これからのまちづくりに対するニーズや意識を把握し、市政運営に当たっての基礎的資料を得ることを目的にアンケート調査を実施しました。

【調査の概要】

調査区域：米原市全域

調査対象：18 歳以上の市民から 2,000 人を無作為抽出

調査時期：平成 28 年 7 月 5 日から 7 月 19 日まで

配布数：2,000 票

回収数：1,190 票

回収率：59.5%

※回収率向上の取組として、締切の一週間前に案内ハガキを送付

(2) 報告書の見方

- 集計に当たっては、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の文章、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100%を超える場合があります。
- グラフまたは図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないものまたは回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフの N 数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は、簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが煩雑になる場合は省略しています。
- 本文中の「ポイント」とは、「%」の差を表しています。

2

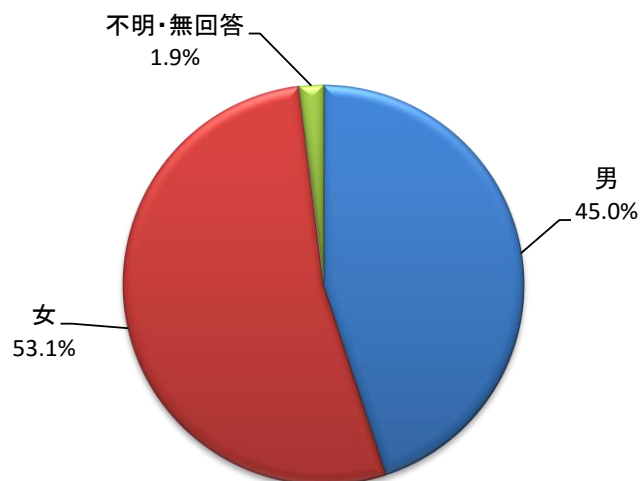
調査結果

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問 1 あなたの性別は。〈〇は 1 つ〉

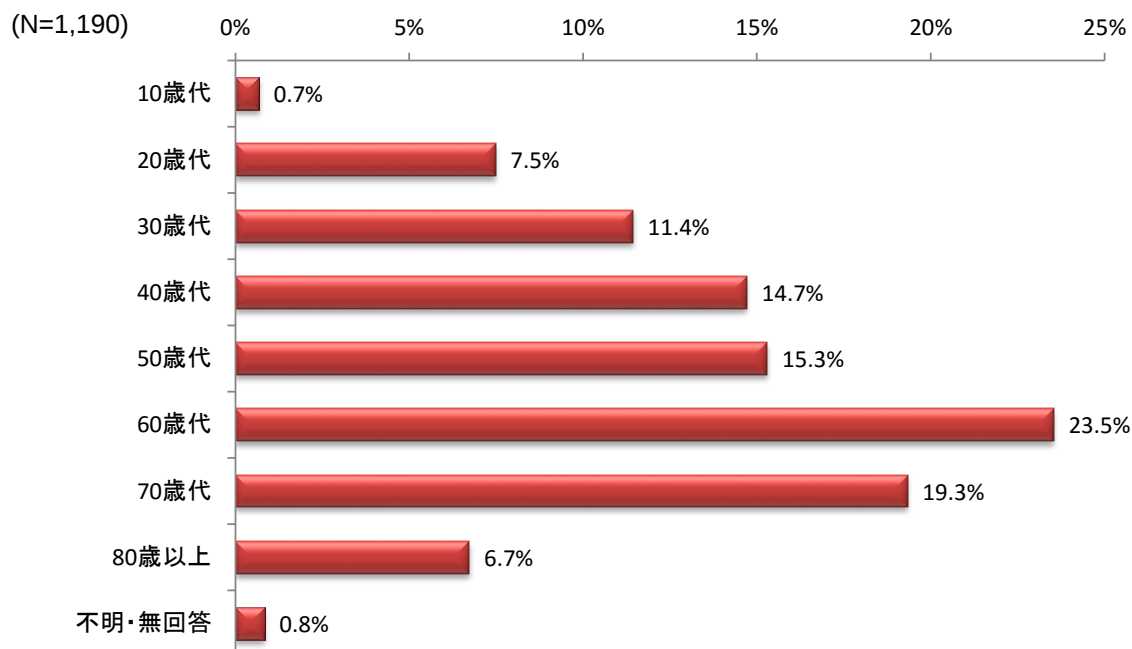
回答者の性別は、「男性」が 45.0%、「女性」が 53.1%となっています。

(N=1,190)



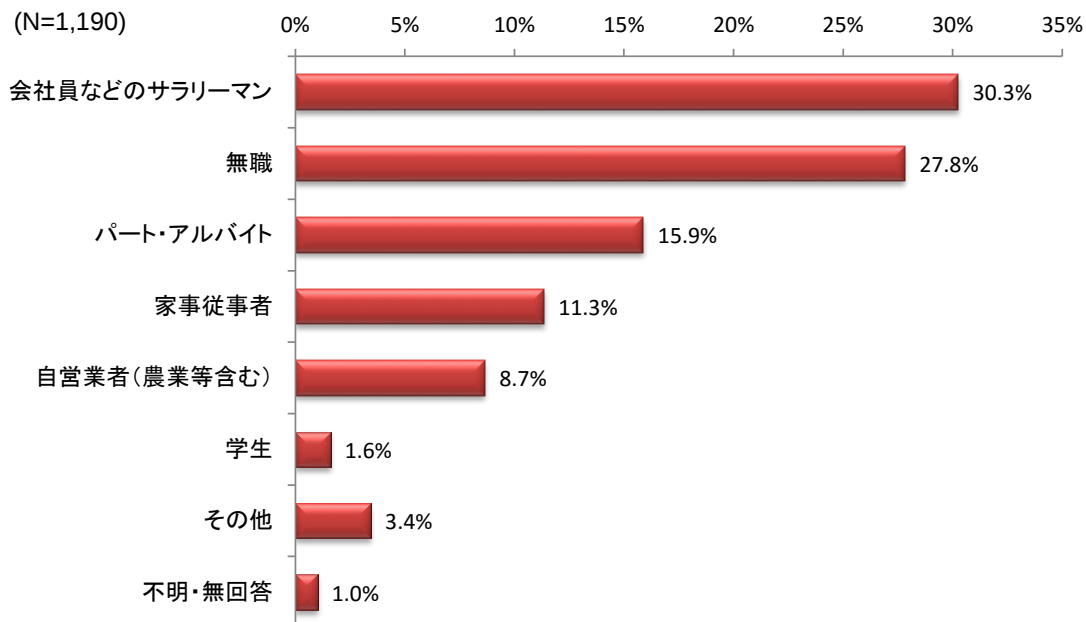
問 2 あなたの年齢は。〈〇は 1 つ〉

回答者の年代は、「60 歳代」が 23.5%と最も高く、次いで「70 歳代」が 19.3%となっています。



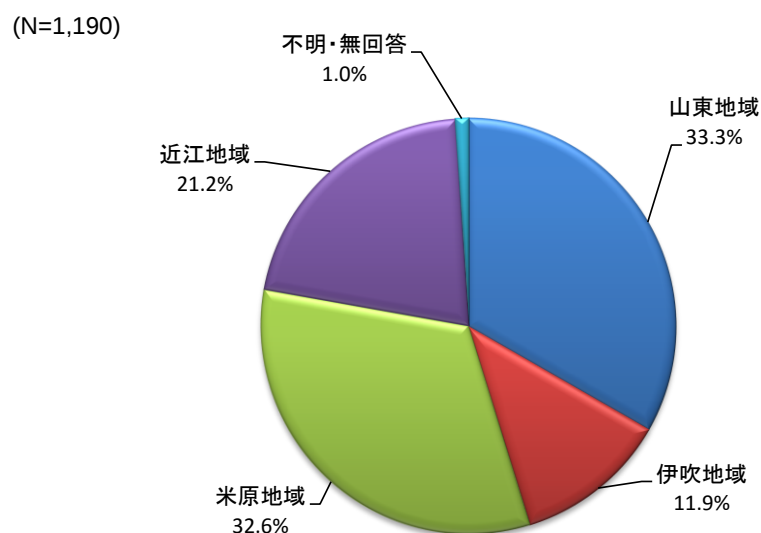
問3 あなたのご職業は何ですか。〈〇は1つ〉

回答者の職業は、「会社員などのサラリーマン」が30.3%と最も高く、次いで「無職」が27.8%となっています。



問4 あなたのお住まいはどちらですか。〈〇は1つ〉

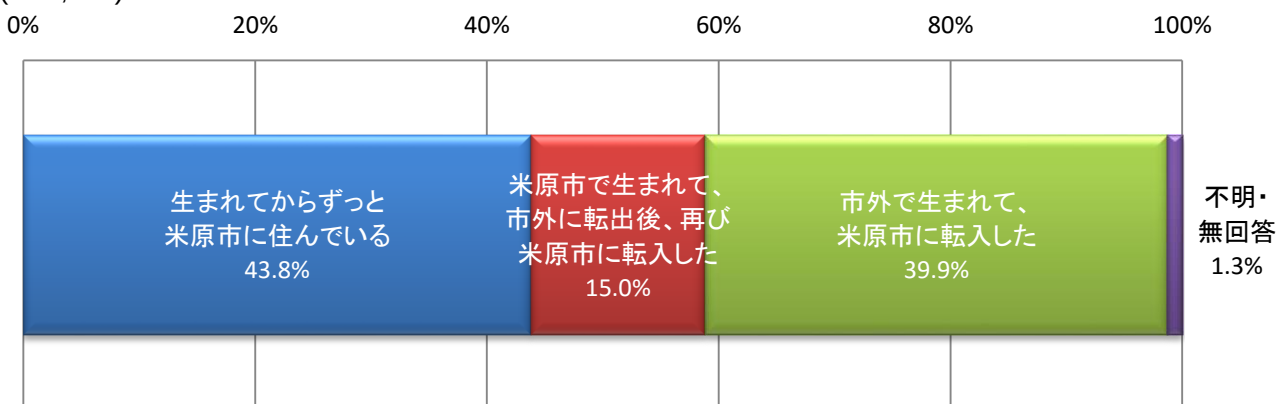
回答者の居住地域は、「山東地域」が33.3%と最も高く、次いで「米原地域」が32.6%となっています。



問5 あなたはいつから米原市にお住まいですか。〈〇は1つ〉

米原市にいつから住んでいるかについて見てみると、「生まれてからずっと米原市に住んでいる」が43.8%と最も高く、次いで「市外で生まれて米原市に転入した」が39.9%となっています。

(N=1,190)



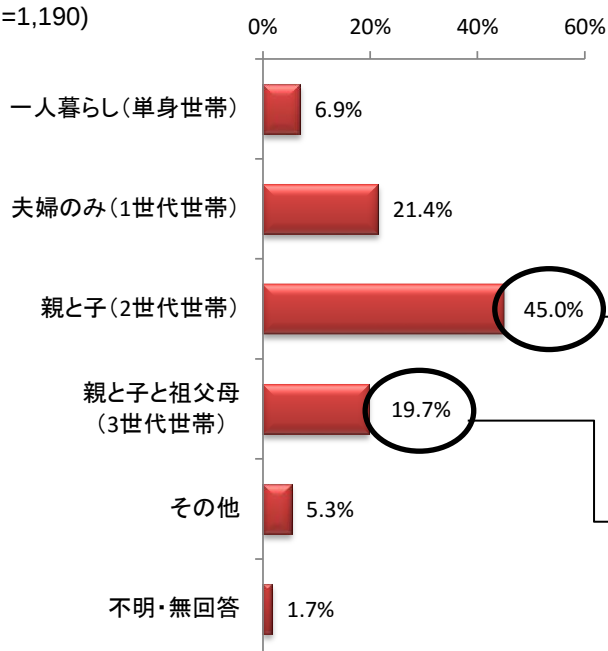
問6 あなたのご家族の構成はどれですか。また、「親と子（2世代世帯）」、「親と子と祖父母（3世代世帯）」と答えられた方は15歳以下の子どもが「いる」、「いない」についてもお答えください。〈〇は1つ〉

家族構成については、「親と子（2世代世帯）」が45.0%と最も高く、次いで「親と子と祖父母（3世代世帯）」が19.7%となっています。

家族構成で「親と子（2世代世帯）」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が52.3%となっています。また「親と子と祖父母（3世代世帯）」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が53.6%となっています。

■家族構成

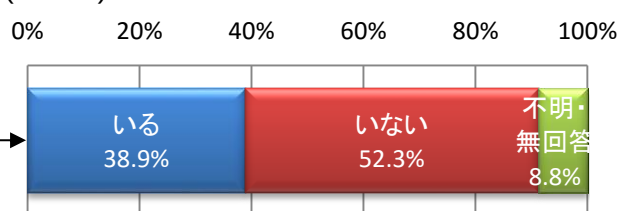
(N=1,190)



■15歳以下の子の有無

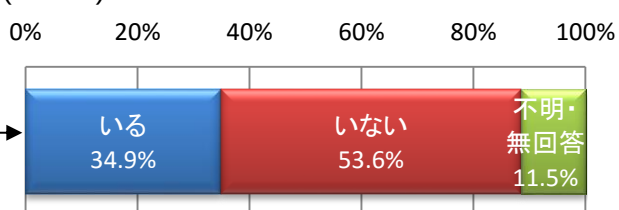
(N=535)

親と子(2世代世帯)



(N=235)

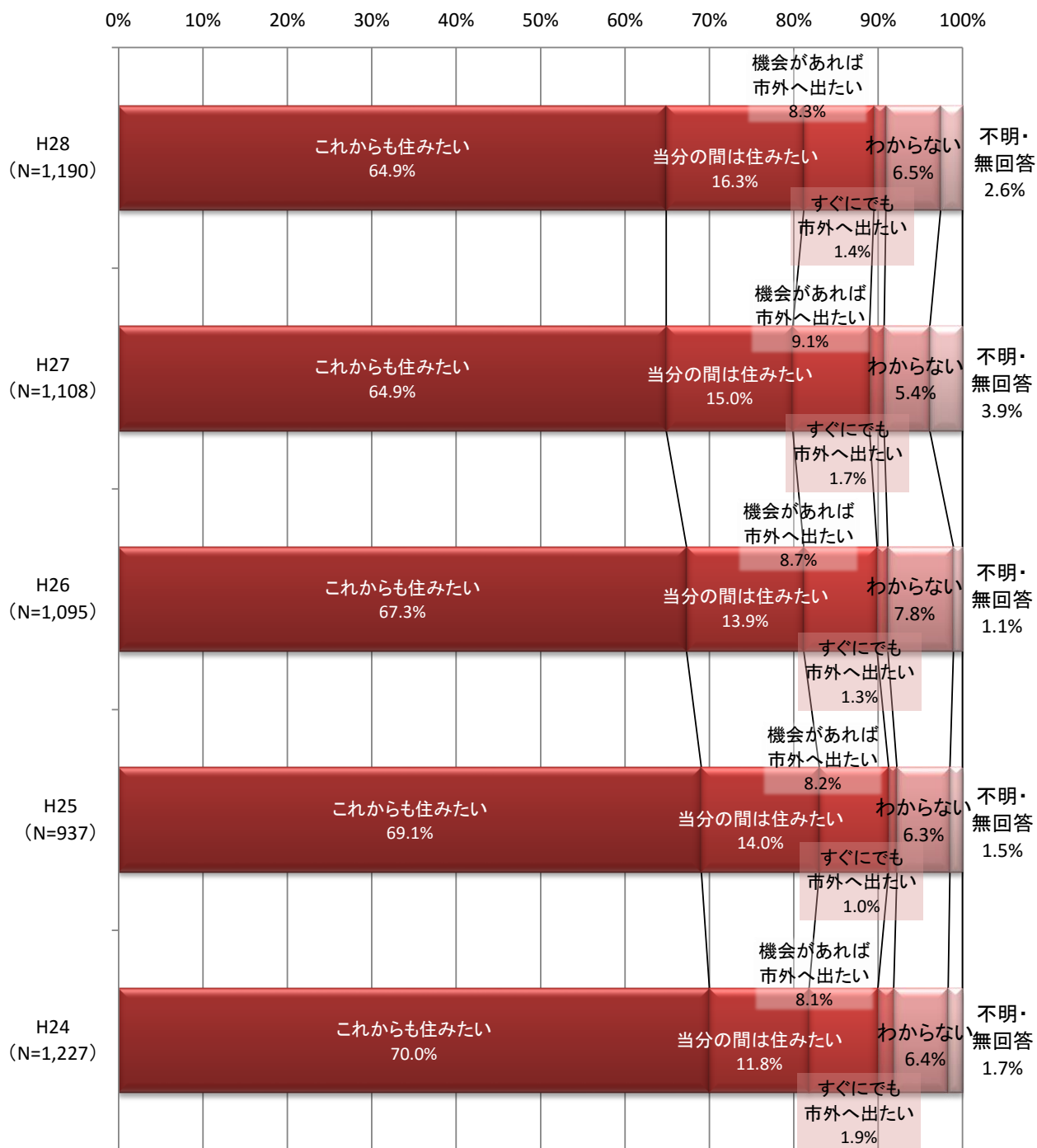
親と子と祖父母(3世代世帯)



問 7 あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか。〈〇は 1 つ〉

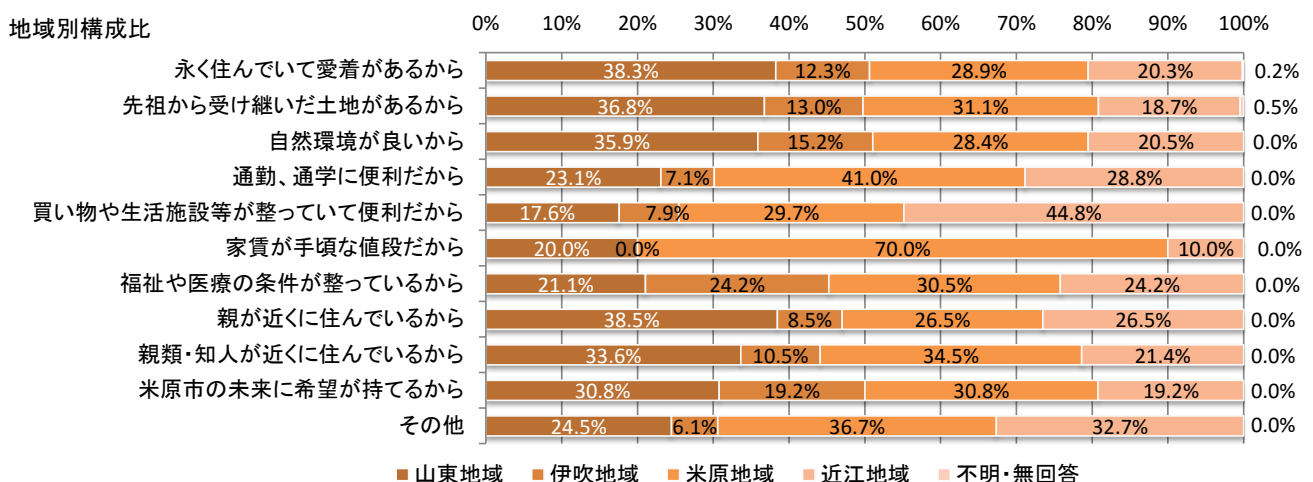
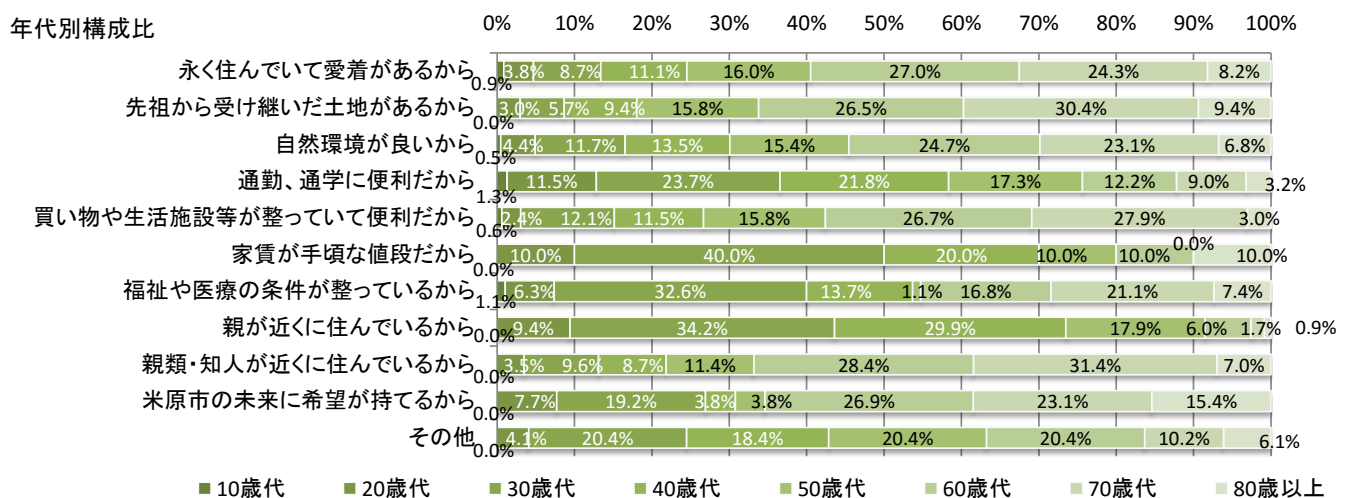
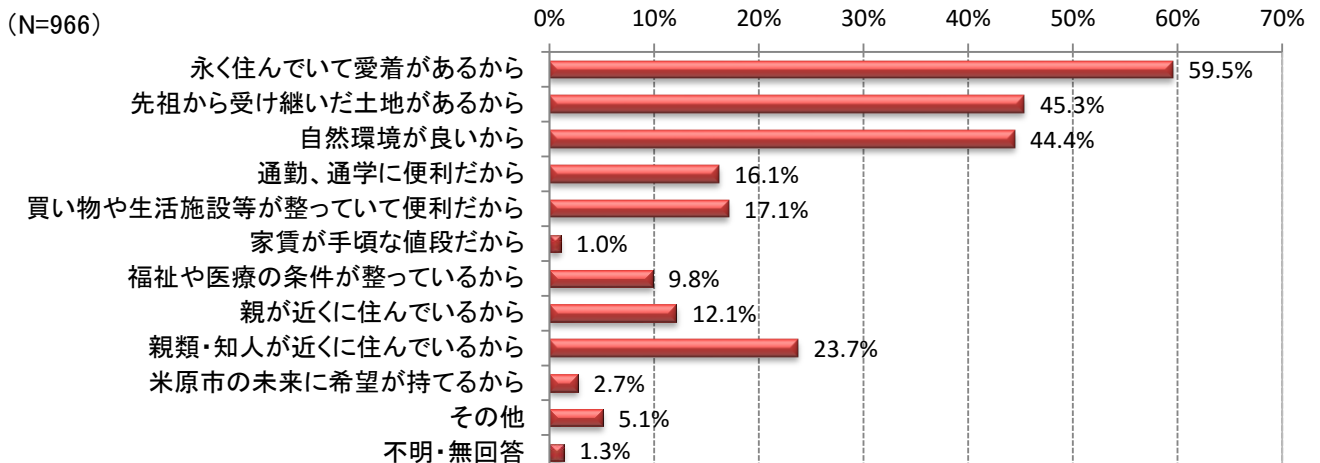
これからも米原市に住みたいと思いますかの設問については、「これからも住みたい」が64.9%と最も高く、次ぐ「当分の間は住みたい」の16.3%と合わせて約8割の市民が米原市への定住を希望しています。

今までに実施した調査と比較したところ、大きな変動は無く、例年約8割の市民が米原市への定住を希望しています。



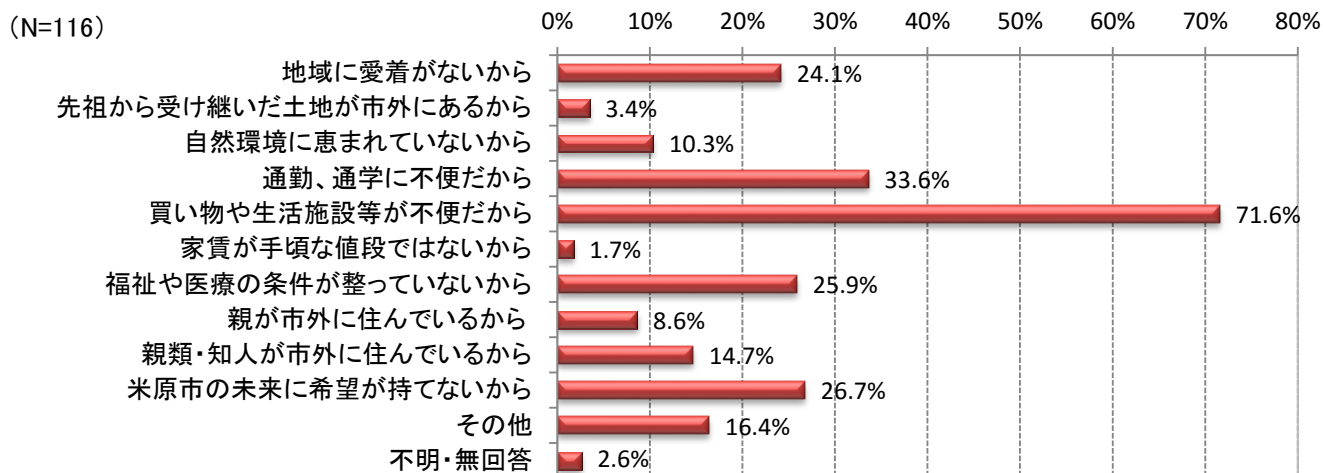
付問 1 【問 7 で「これからも住みたい」、「当分の間は住みたい」と答えられた方】
今後も住みたい理由は何ですか。〈〇は 4 つまで〉

「これからも住みたい」または「当分の間は住みたい」と答えた方の理由について見てみると、「永く住んでいて愛着があるから」が 59.5%と最も高く、次いで「先祖から受け継いだ土地があるから」が 45.3%となっています。また、「その他」の具体的な理由としては、「家を建てたから」、「子育て制度がしっかりしている」などが挙がっていました。年代別でみると、高齢なほど土地や人への愛着が強く、若いほど合理的な理由が強いことが分かります。地域別では、概ね回答者の構成比（問 4）と符合しているものの、「通勤、通学に便利だから」では米原地域が、「買い物や生活施設等が整っていて便利だから」では近江地域が、それぞれ多いようです。「家賃が手頃な値段だから」については回答の絶対数が少ないものの米原地域に多いようです。



付問２ 【問７で「機会があれば市外へ出たい」、「すぐにでも市外へ出たい」と答えられた方】あなたが「市外へ出たい」と思う理由は何ですか。〈〇は４つまで〉

「市外へ出たい」と答えた方の理由について見てみると、「買物や生活施設等が不便だから」が71.6%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」が33.6%となっています。また、「その他」の具体的な理由としては、「仕事がない」、「閉鎖的」などの理由が挙がっていました。

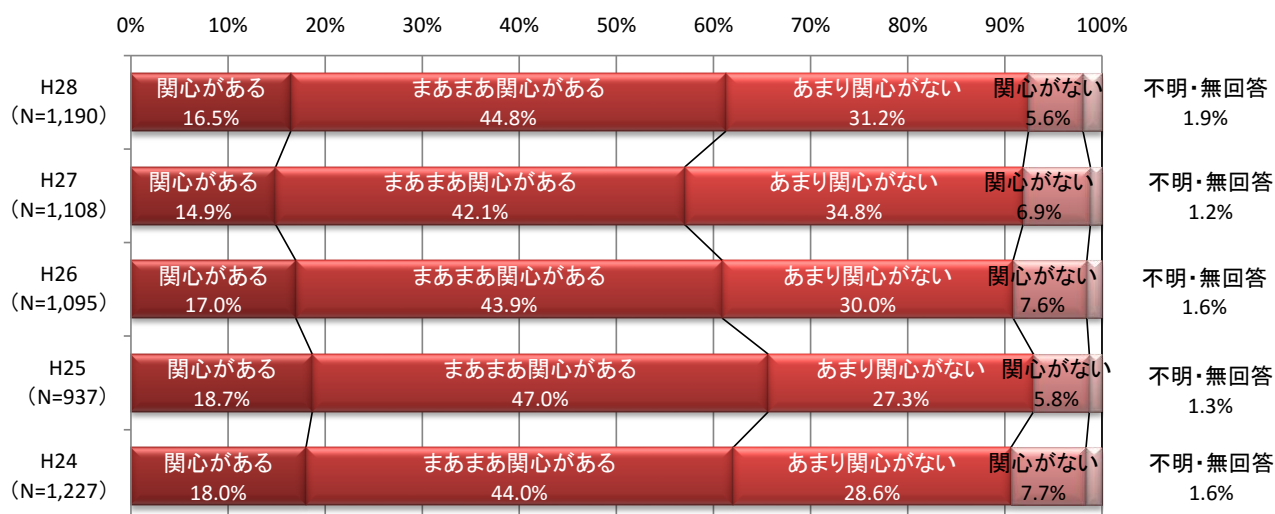


まちづくり全般についてお伺いします。

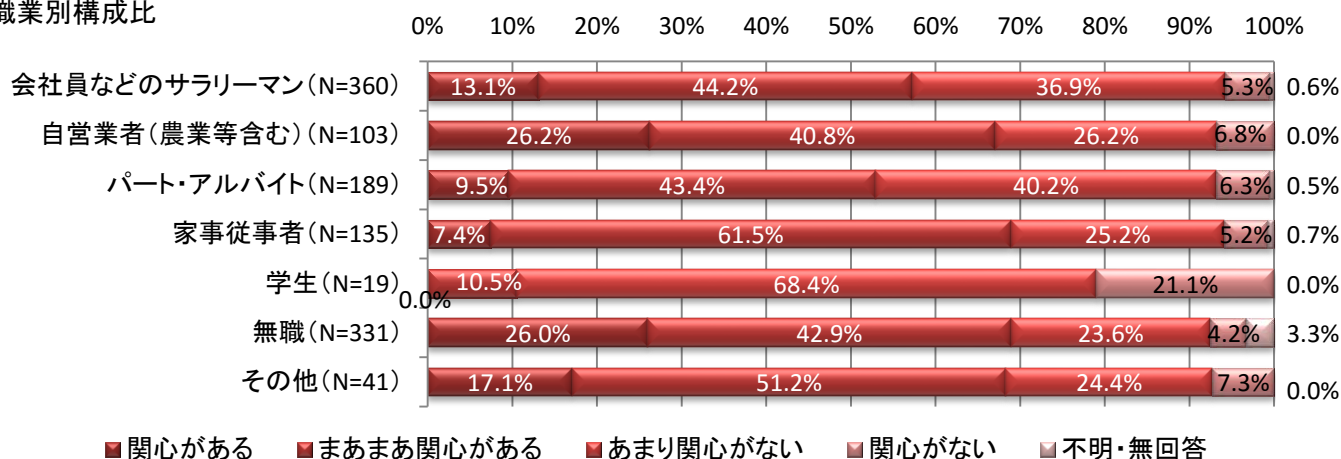
問 8 あなたは、市政に関心をお持ちですか。〈〇は 1 つ〉

市政への関心については、「関心がある」、「まあまあ関心がある」を合わせると6割近くの市民が市政に関心を持っています。経年変化では近年は低下傾向にありましたが、今年度は再び上昇しています。

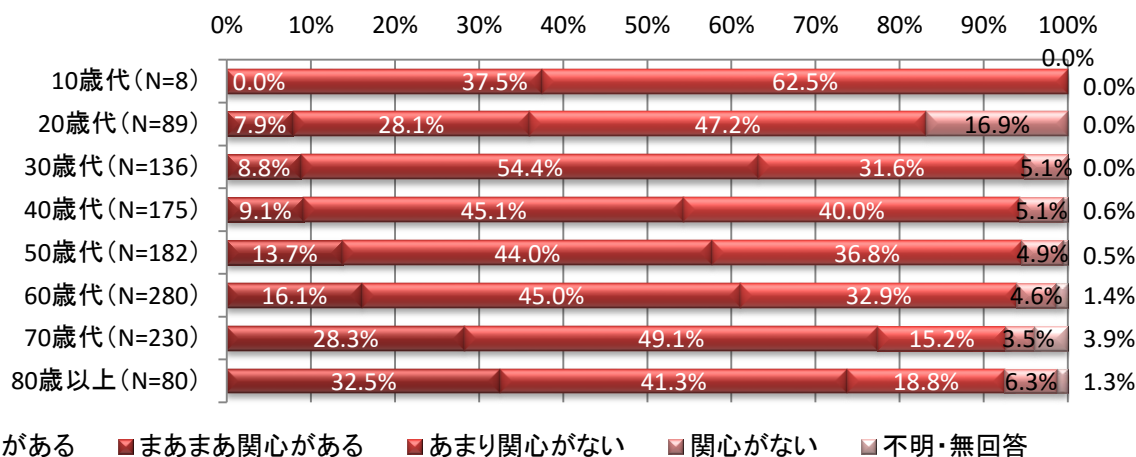
また、職業別構成比でみると「自営業者（農業等含む）」と「家事従事者」、「無職」で約7割の人が市政に関心を持っている一方、「学生」では「あまり関心がない」、「関心がない」の合計が9割近くとなっています。年代別構成比では、「関心がある」と回答する人は年代が上がるにつれて増加する傾向にあります。



職業別構成比



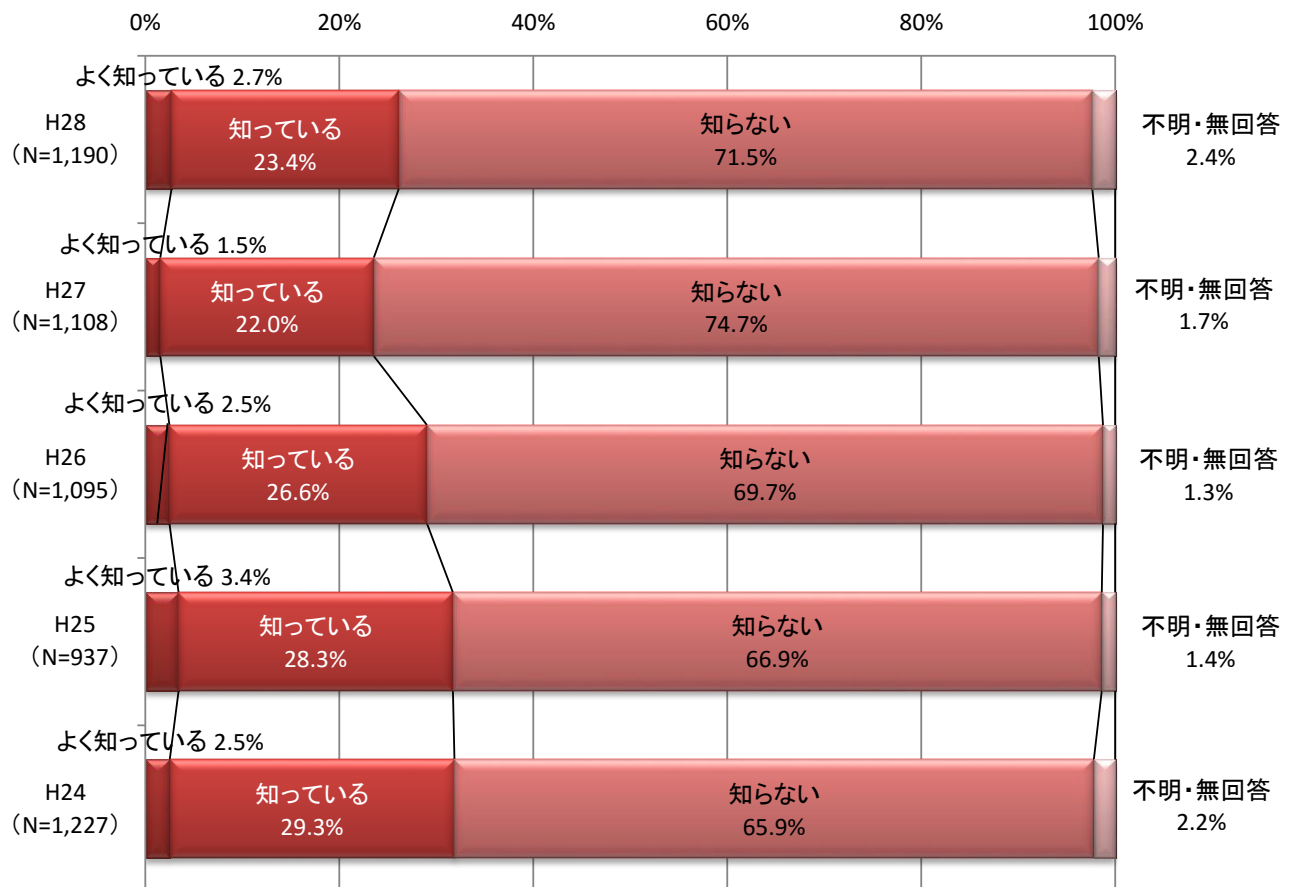
年代別構成比



問 9 あなたは、市のまちづくりの基本ルールである「米原市自治基本条例」をご存じですか。〈〇は 1 つ〉

「米原市自治基本条例」の認知度については、「よく知っている」、「知っている」を合わせると 26.1% となっており、昨年度より高くなっています。

しかし、これまでに実施した調査でも約 7 割近くの市民が「知らない」状況が続いており、引き続き啓発が必要です。



問 10 市では、次に示す 29 項目の施策に取り組んでいます。

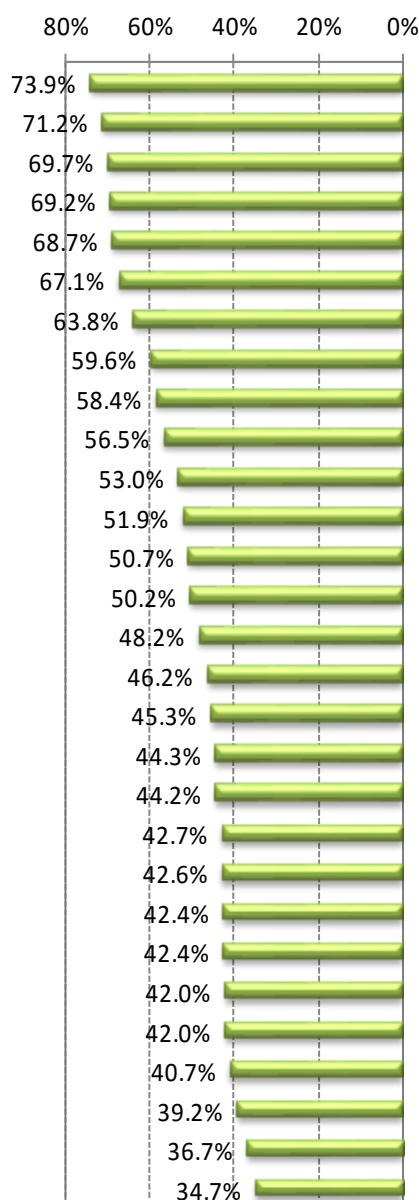
あなたは、次の各項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたのお考えに一番近い番号を「1～5」の中からそれぞれ 1 つずつ選んで、番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージでお答えください。〈○は満足度と重要度に 1 つずつ、計 2 つ〉

重要度の上位にランクされた6項目については、順位の入替わりはあるものの、昨年度調査と同様に重要度が高いものと認識されていることから、今後も継続して取組を進める必要があります。

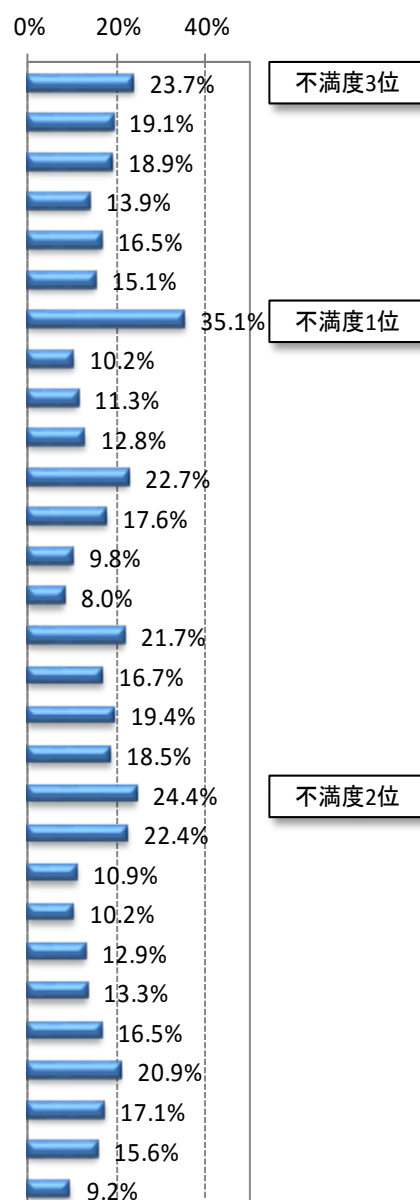
不満度では、「7. 公共交通の充実」、「19. 広域的な交流機能の整備」、「1. 地域の医療体制の充実」の順に高く、快適で安心して利用できる公共交通の確保や交通の要衝である利点を活かした広域的な交流機能の整備、地域医療体制の充実に今後さらに力を入れていくことが求められています。

重要度(重要+どちらかといえば重要)

不満度(不満+どちらかといえば不満)



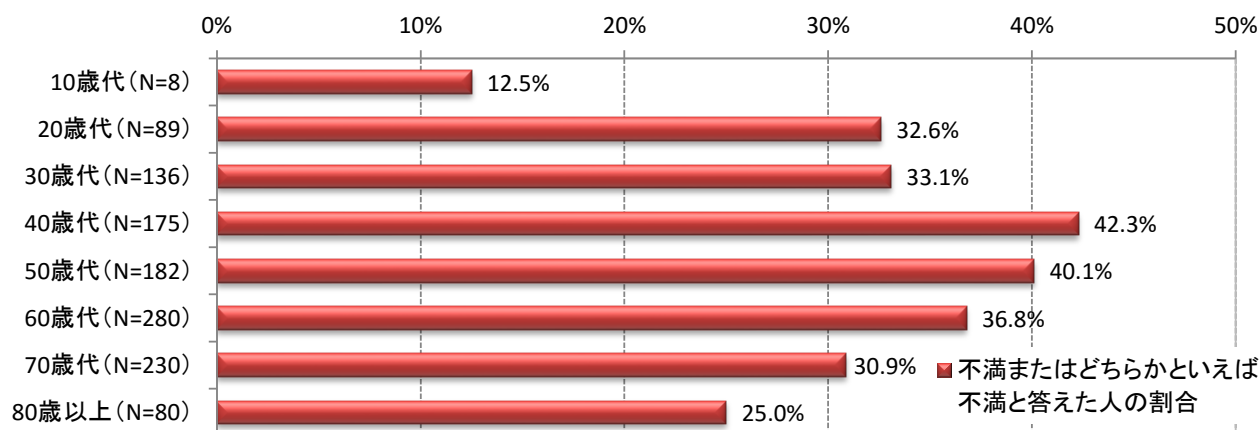
1. 地域の医療体制の充実
2. 高齢者・障がい者福祉の充実
3. 災害に強いまちづくりの推進
4. 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
5. 教育内容、施設の充実
6. 子育て・子育て支援の充実
7. 公共交通の充実
8. 健康づくりの推進
9. 生活環境の保全
10. 地域福祉の推進
11. 道路網の整備
12. 情報通信網の整備・活用
13. 循環型社会の構築
14. 自然環境の保全
15. 行財政改革の推進
16. やすらぎ環境の整備
17. 快適な住環境の整備
18. 新エネルギーの導入
19. 広域的な交流機能の整備
20. 観光・イベントの振興
21. 生涯学習の推進
22. 歴史・文化遺産の継承と活用
23. 男女共同参画社会の実現
24. 文化・スポーツの推進
25. 水源の里まいばらへの移住・定住の促進
26. 地域産業(農林水産業、商工業等)の振興
27. 市民と行政との協働のまちづくりの推進
28. 市民との情報共有の推進
29. 人権の尊重



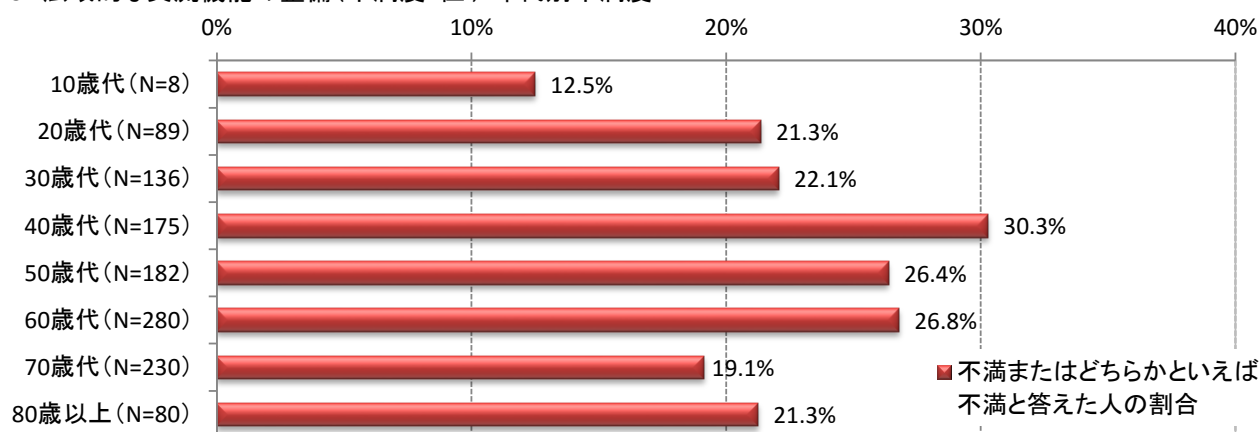
◆年代別

また不満度の上位3つについて年代別に見てみると、公共交通の充実（不満度1位）については10歳代、80歳以上を除くすべての年代で3～4割の人が不満を抱えていることがわかります。広域的な交流機能の整備（不満度2位）については40歳代で不満を抱える人が多く3割を超えています。地域の医療体制の充実（不満度3位）については、20歳代から60歳代にかけて2割を超え、70歳以上では比較的不満度が低くなっています。

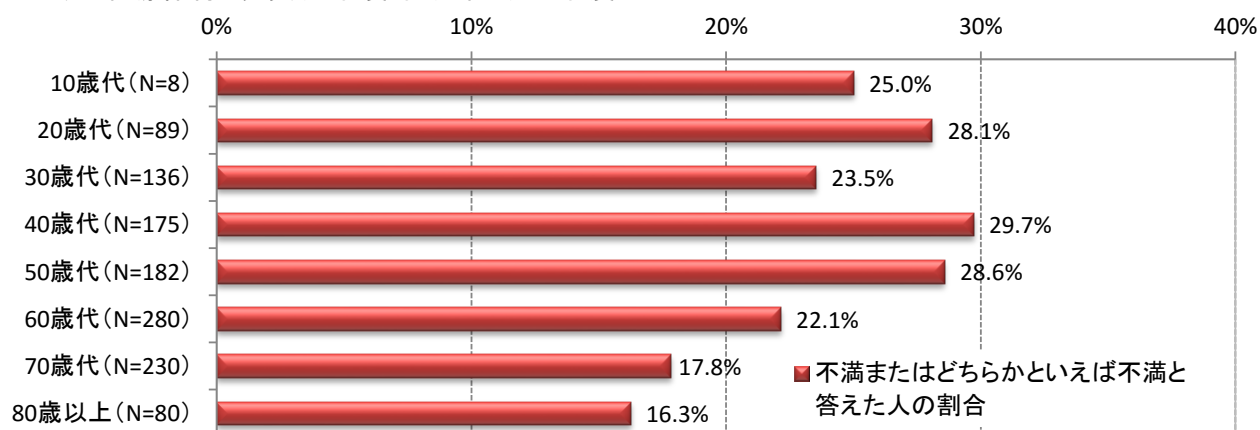
7. 公共交通の充実(不満度1位) 年代別不満度



19. 広域的な交流機能の整備(不満度2位) 年代別不満度



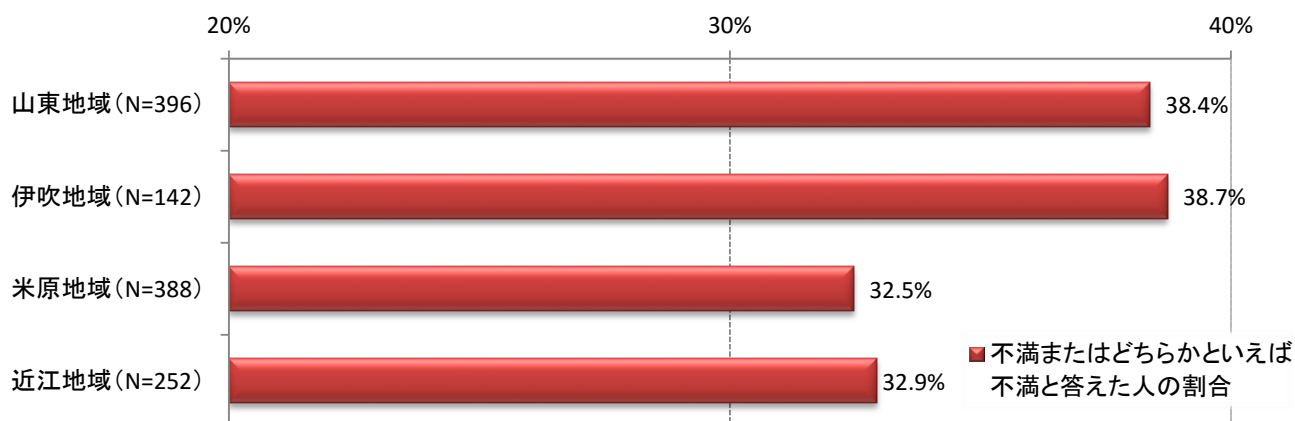
1. 地域の医療体制の充実(不満度3位) 年代別不満度



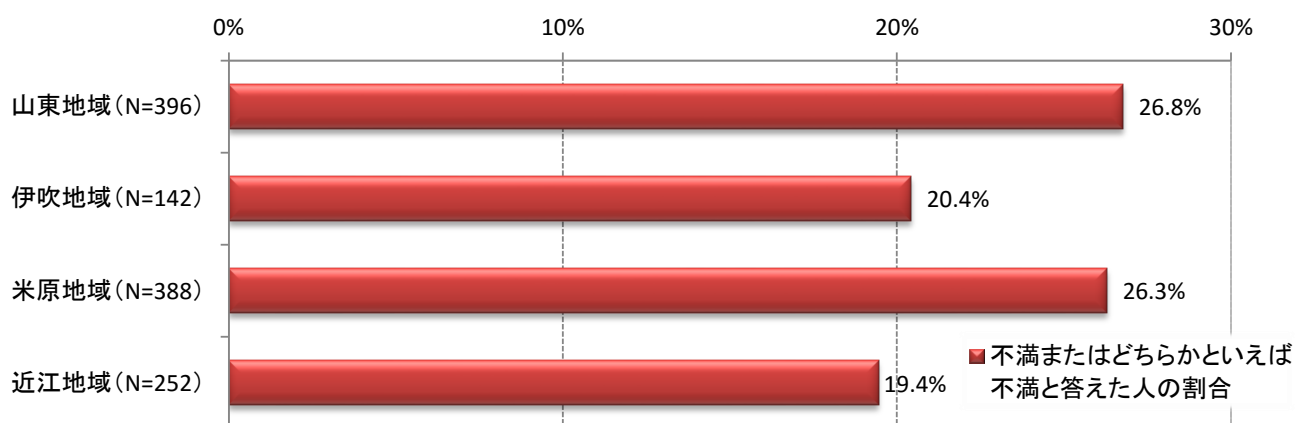
◆地域別

また不満度の上位3つについて地域別に見てみると、「公共交通の充実」では山東・伊吹地域の不満度が比較的高く、「広域的な交流機能の整備」では山東・米原地域、「地域医療体制の充実」では山東地域と地域差があることが分かります。

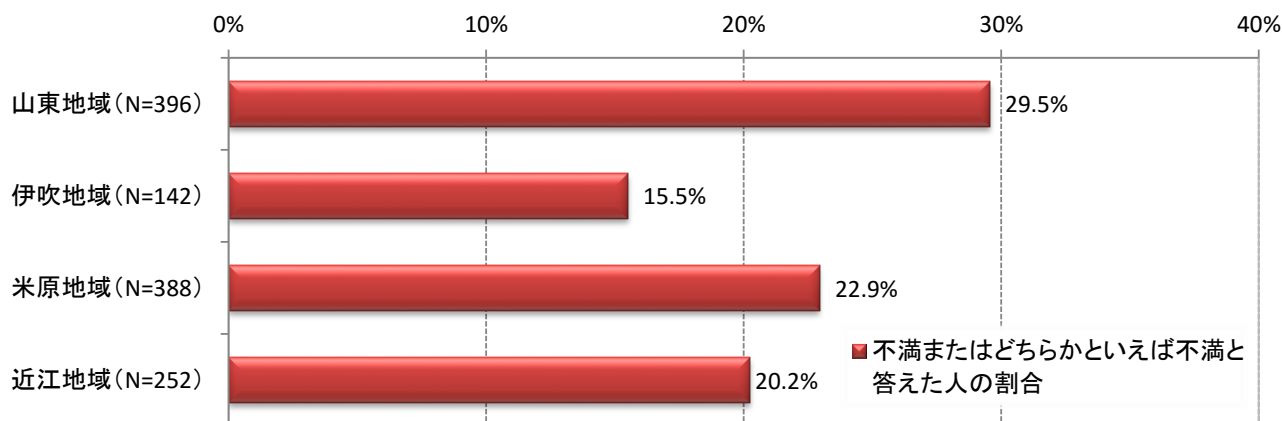
7. 公共交通の充実(不満度1位) 地域別不満度



19. 広域的な交流機能の整備(不満度2位) 地域別不満度



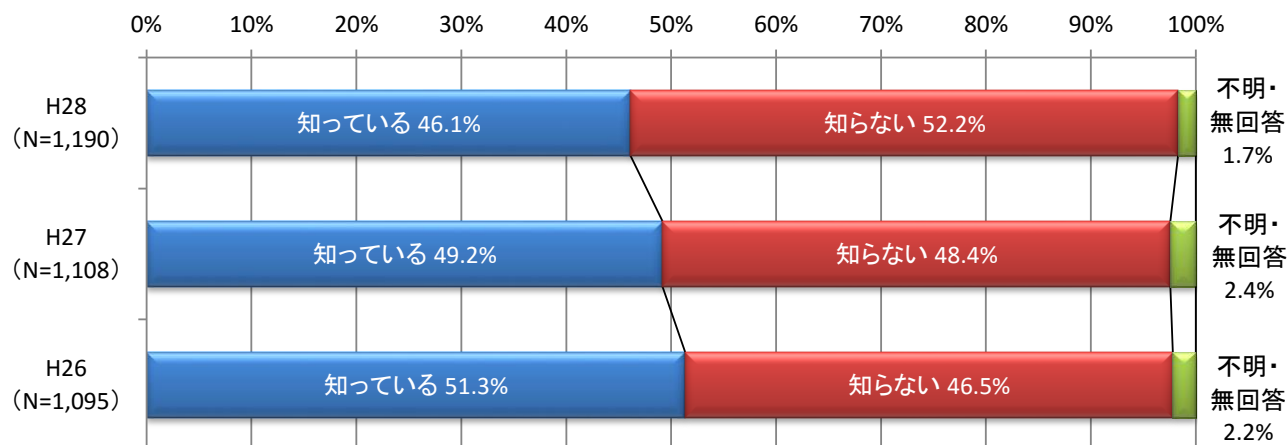
1. 地域の医療体制の充実(不満度3位) 地域別不満度



「1. 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち」に関する設問です。

問 11 あなたは、まちづくり市民大学「ルッチまちづくり大学」をご存じですか。
〈〇は 1 つ〉

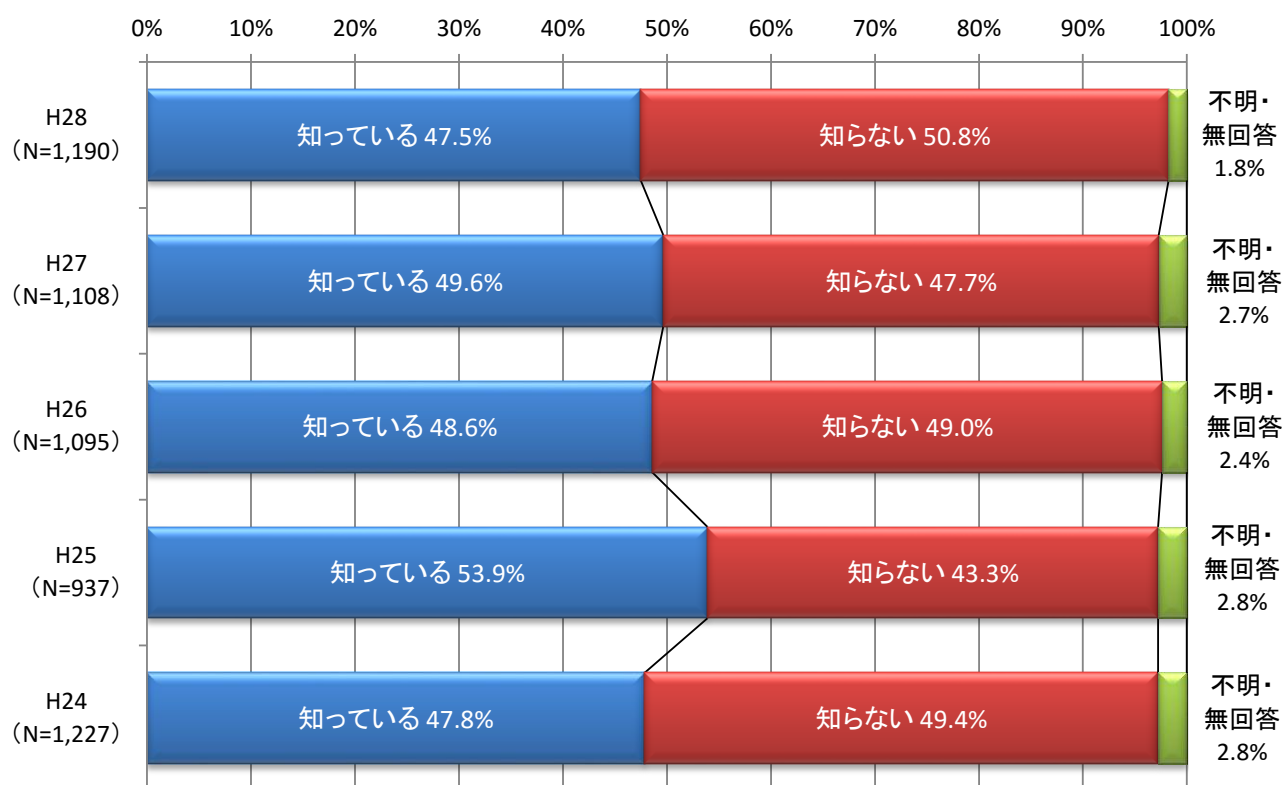
まちづくり市民大学「ルッチまちづくり大学」の認知度については、「知っている」が46.1%、「知らない」が52.2%となっています。経年変化で見ると、認知度は徐々に下がってきています。



問 12 あなたは、市が「非核・平和都市宣言のまち」であることをご存じですか。
〈〇は 1 つ〉

市が「非核・平和都市宣言のまち」であることの認知度については、「知っている」が47.5%、「知らない」が50.8%となっています。

経年変化で見ると、認知度は概ね5割程度で推移しています。

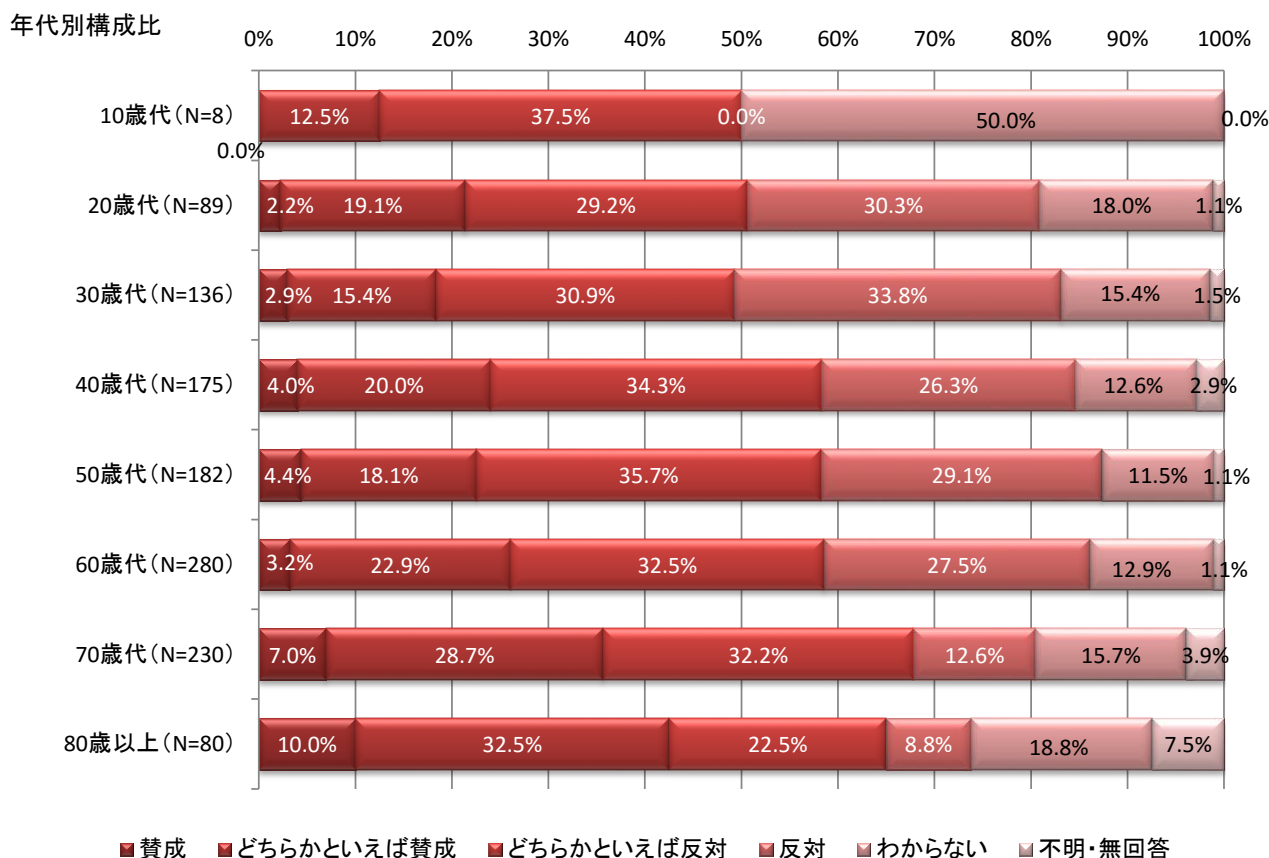
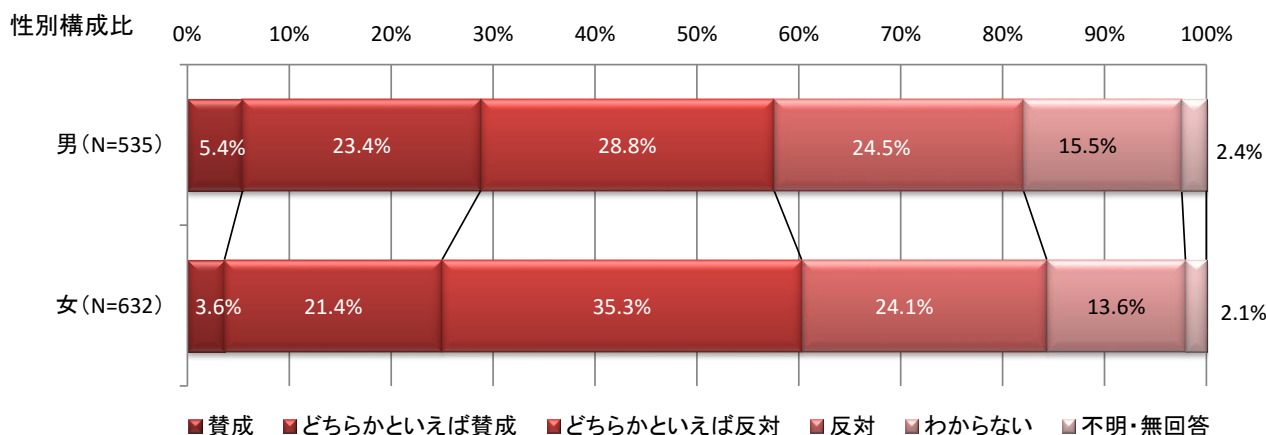
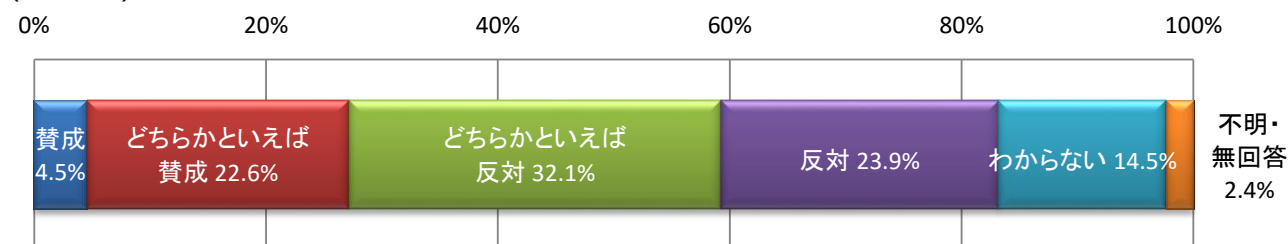


問 13 男性は仕事、女性は家庭といった考え方がありますが、あなたはどのようにお考えですか。〈〇は1つ〉

男性は仕事、女性は家庭といった考え方については、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』は27.1%となっており、「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた『反対』が56.0%となっています。

性別構成比では、男性の方が『賛成』がやや多く、年代別構成比では、年代が上がるほど『賛成』の割合が多くなる傾向にあります。

(N=1,190)

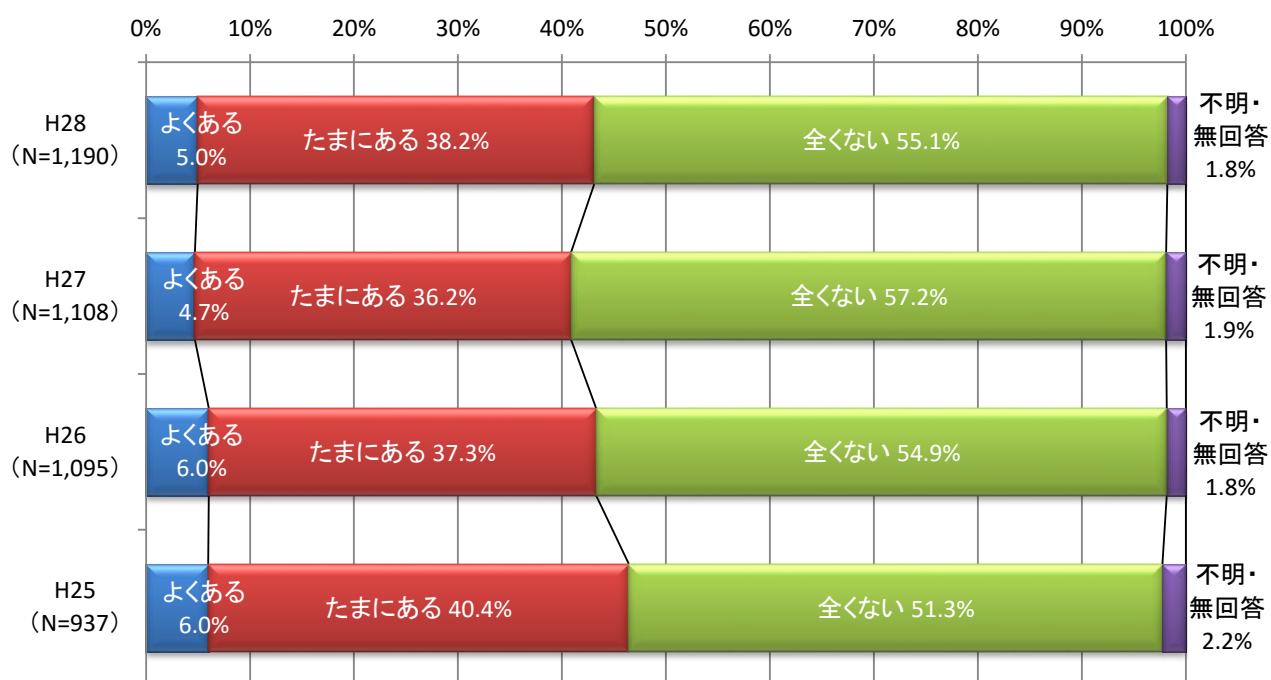


「2. 市民の絆で築く心と体の健康なまち」に関する設問です。

問 14 あなたは、地域の子どもたちと遊んだり、一緒に活動したりすることはありますか。〈〇は1つ〉

地域の子どもたちと遊んだり、一緒に活動することの有無について見てみると、「よくある」、「たまにある」を合わせた『ある』は43.2%で、「全くない」の55.1%を下回っており、地域の子どもたちと遊んだり、一緒に活動していない市民の方が多くなっています。

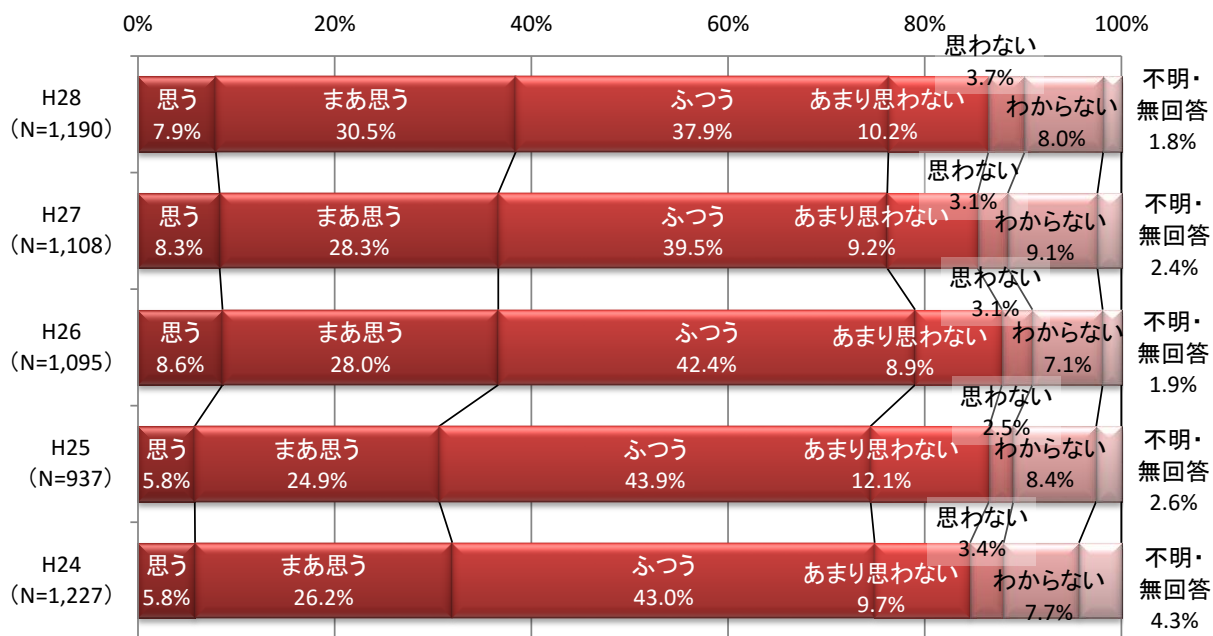
経年変化では、昨年度まで『ある』が低下傾向にありましたが、今年度の調査ではわずかに上昇しています。



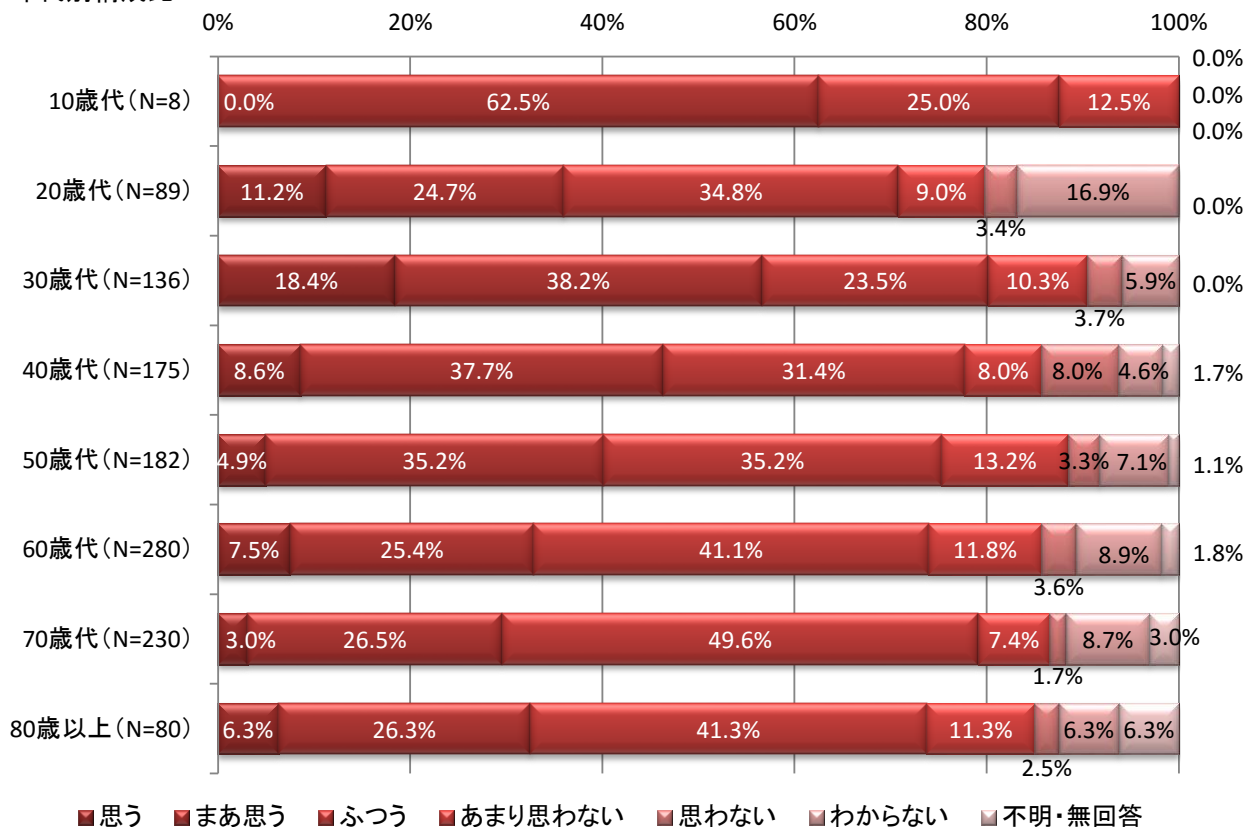
問 15 あなたは、米原市を子育てしやすいまちだと思いますか。〈〇は 1 つ〉

米原市を子育てしやすいまちだと思うかについて見てみると、「ふつう」の割合が37.9%と最も多く、「思う」、「まあ思う」を合わせた『思う』が38.4%に対して、「あまり思わない」、「思わない」を合わせた『思わない』が13.9%となっています。

また年代別構成比では、70歳代を除くすべての年代で3割以上の人が「思う」、「まあ思う」と回答しており、30歳代では特に多く半数を超えています。



年代別構成比

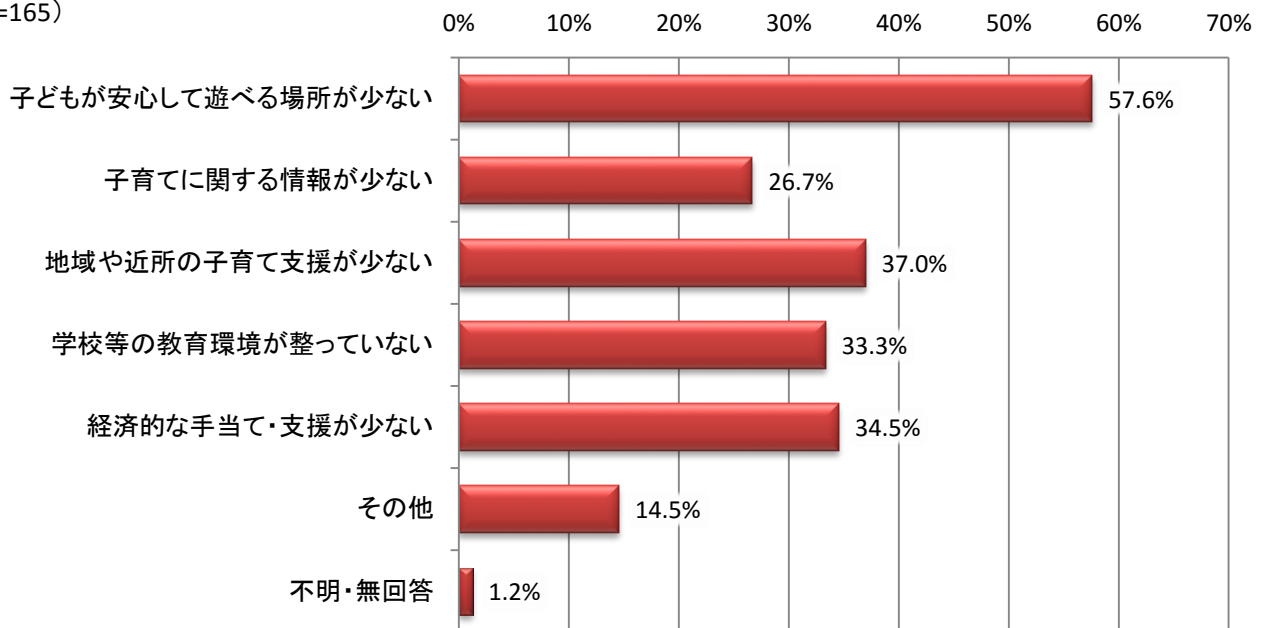


付問 1 【問 15 で「あまり思わない」、「思わない」と答えられた方】子育てしにくいところはどんなところですか。〈あてはまるものすべてに○〉

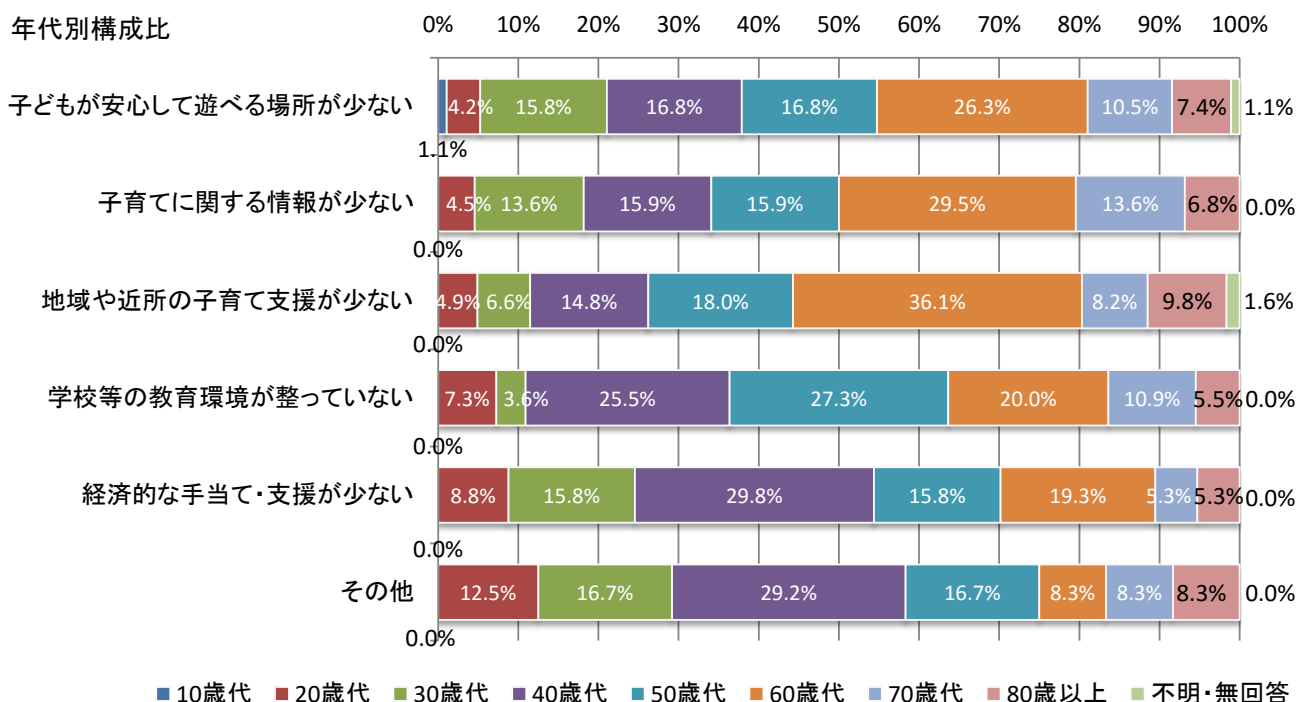
「あまり思わない」または「思わない」と答えられた方の、その理由について見てみると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」が 57.6%と最も多く、次いで「地域や近所の子育て支援が少ない」が 37.0%、「経済的な手当て・支援が少ない」が 34.5%となっています。

また、年代別構成比でみると「子どもが安心して遊べる場所が少ない」、「子育てに関する情報が少ない」、「地域や近所の子育て支援が少ない」については 60 歳代で選択している人が多いことが分かります。また、「学校等の教育環境が整っていない」「経済的な手当て・支援が少ない」では 40 歳代で多くなっています。

(N=165)

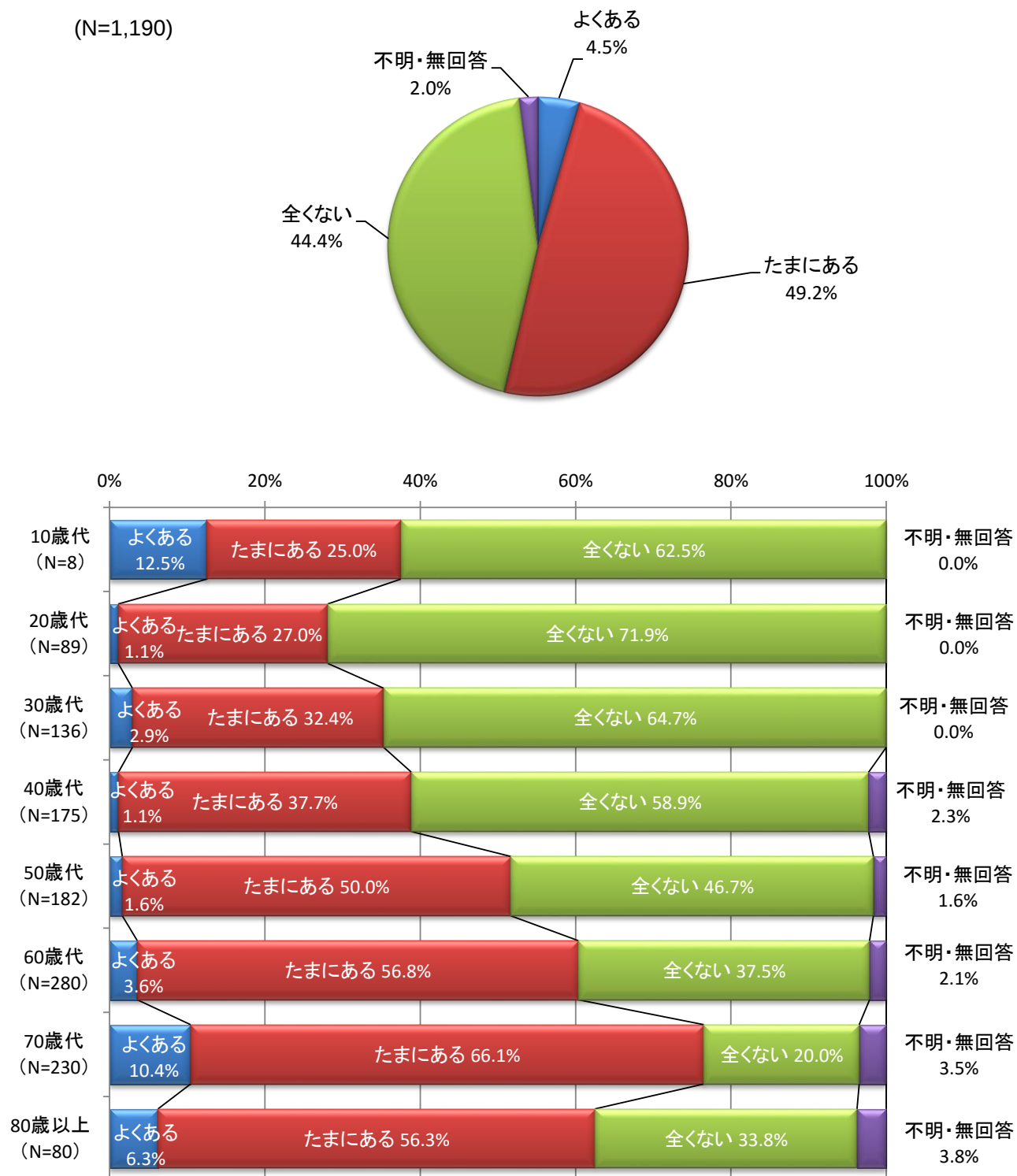


年代別構成比



問 16 あなたは、地域で困っている人を手助けしたり、相談に乗ったりすることはありますか。〈〇は 1 つ〉

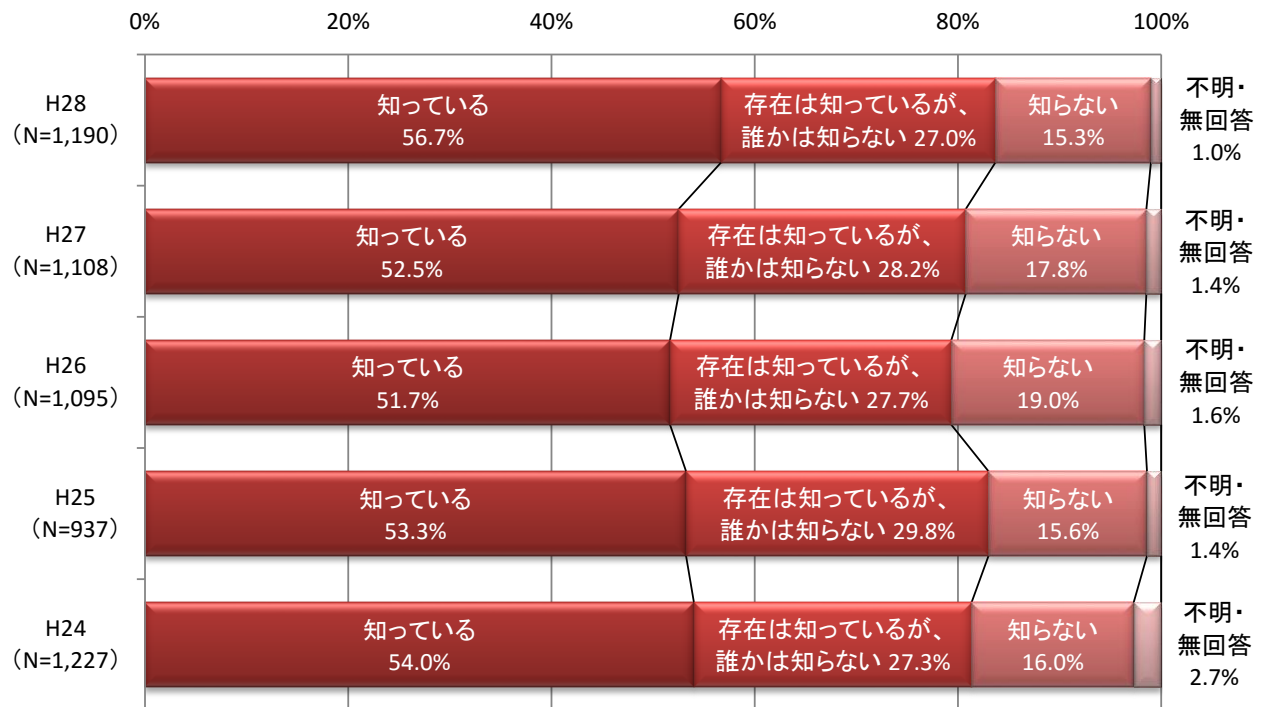
地域で困っている人の手助けや相談に乗ることが「よくある」は 4.5%、「たまにある」49.2%、「全くない」44.4%となっています。年代別では 20 歳代で「全くない」が 7 割強と高くなっています。



問 17 あなたは、地域を担当する「民生委員児童委員」をご存じですか。〈〇は 1 つ〉

「民生委員児童委員」の認知度については、「知っている」が56.7%と5割以上であり、「存在は知っているが誰だか知らない」(27.0%)、「知らない」(15.3%)の合計を上回っています。

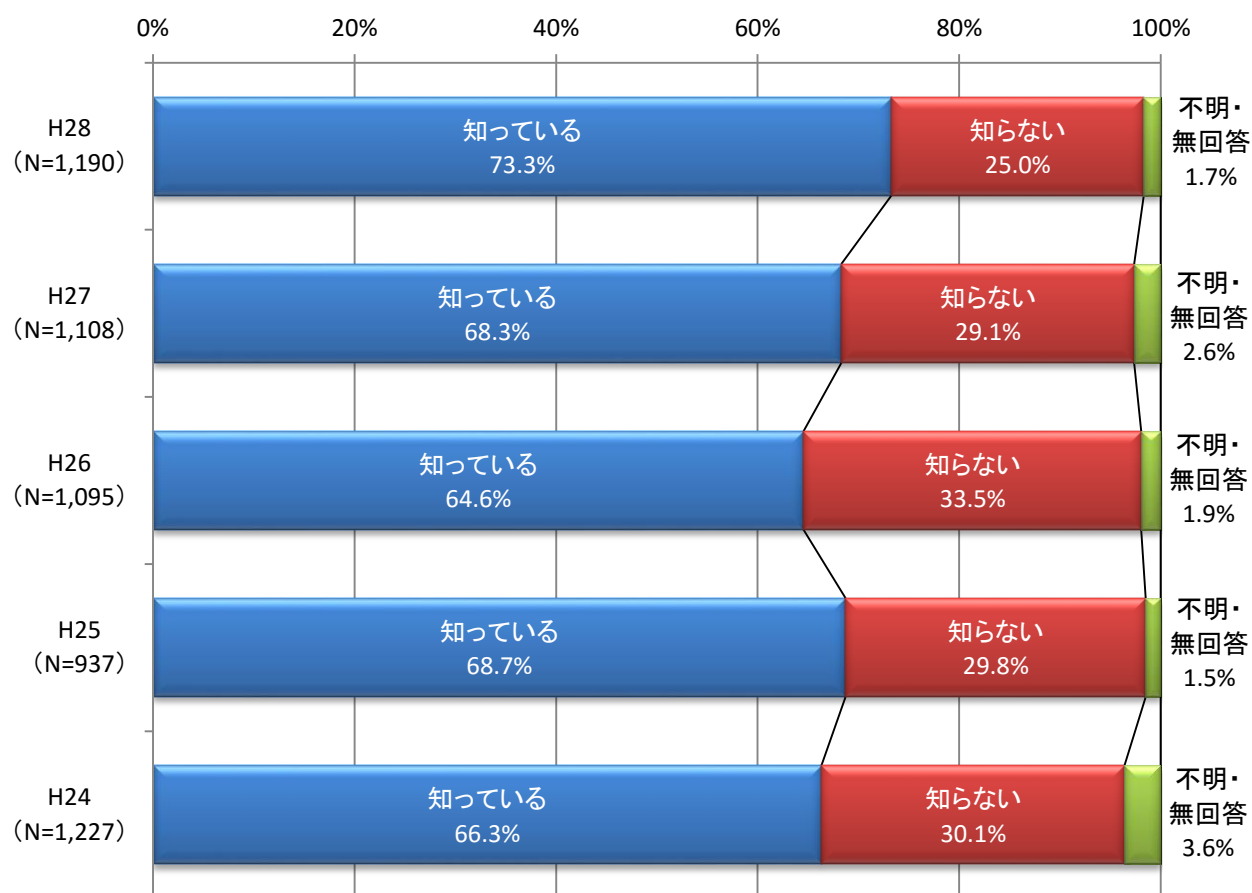
経年変化で見ると、「知っている」の割合はほぼ横ばいですが、今年度最も高くなっています。



「3. 田舎都市が魅せるいやしのまち」に関する設問です。

問 18 あなたは、「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることをご存じですか。〈〇は 1 つ〉

「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることの認知度についてみると、ほぼ横ばいで推移していますが、今年度初めて 7 割を超え、73.3%となっています。



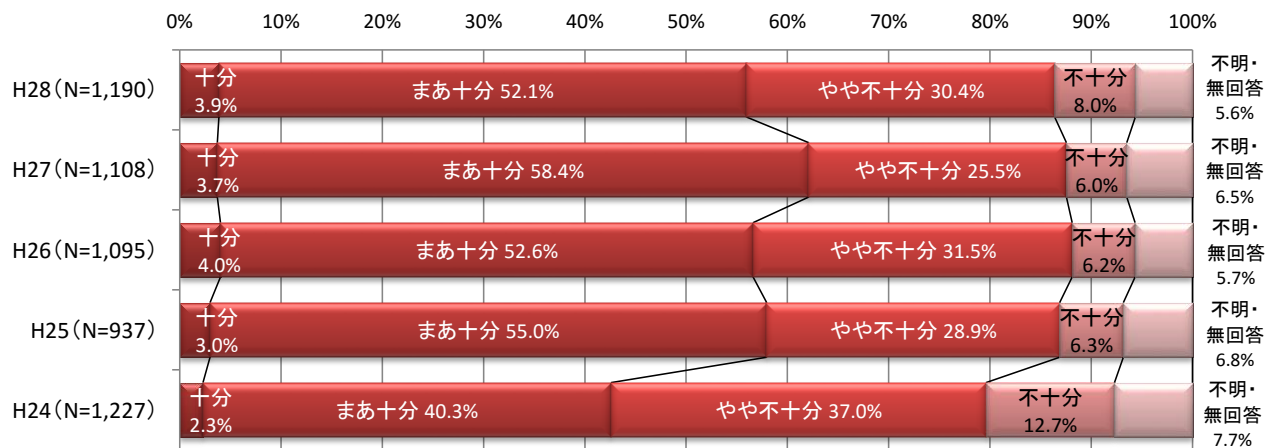
「4. 災害に強く生活が便利なほっとするまち」に関する設問です。

問 19 あなたは、災害に対する備えとして、次の項目は十分だと思いますか。 〈〇はそれぞれ1つずつ〉

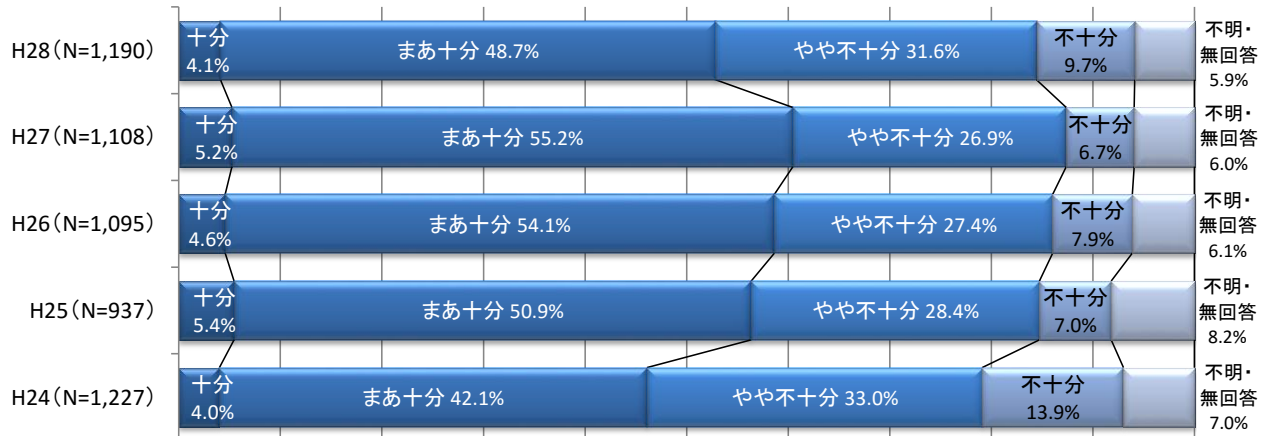
災害に対する備えについて見てみると、①災害時の伝達体制、②災害時の避難場所、③防災訓練の実施状況の各項目において『十分』（「十分」および「まあ十分」）の割合が『不十分』（「やや不十分」および「不十分」）を上回り、5割を超えています。

経年変化で見てみると、すべての項目で『十分』のポイントが上昇傾向にあります。昨年度と比較するとすべての項目で『十分』のポイントが下がっています。

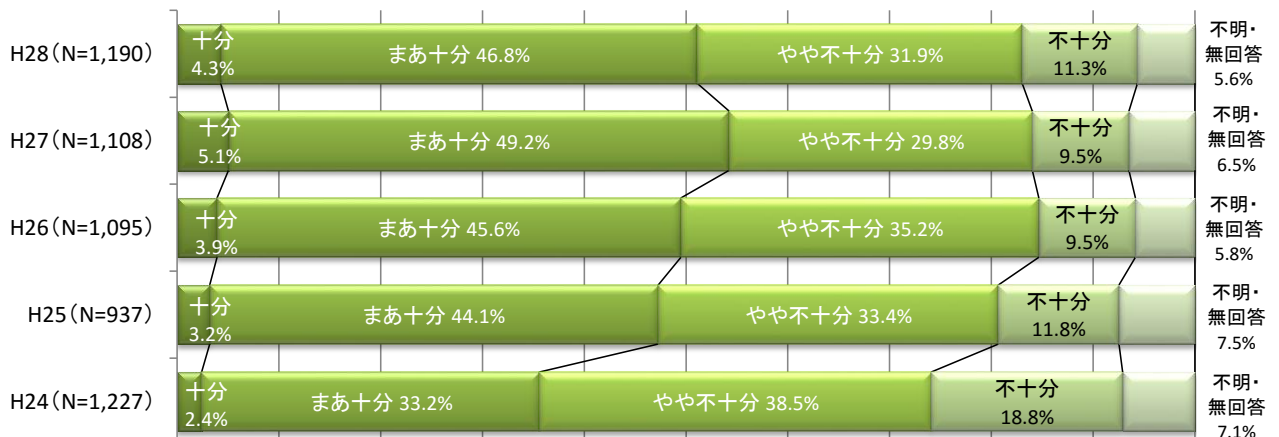
① 災害時の伝達体制



② 災害時の避難場所



③ 防災訓練の実施状況

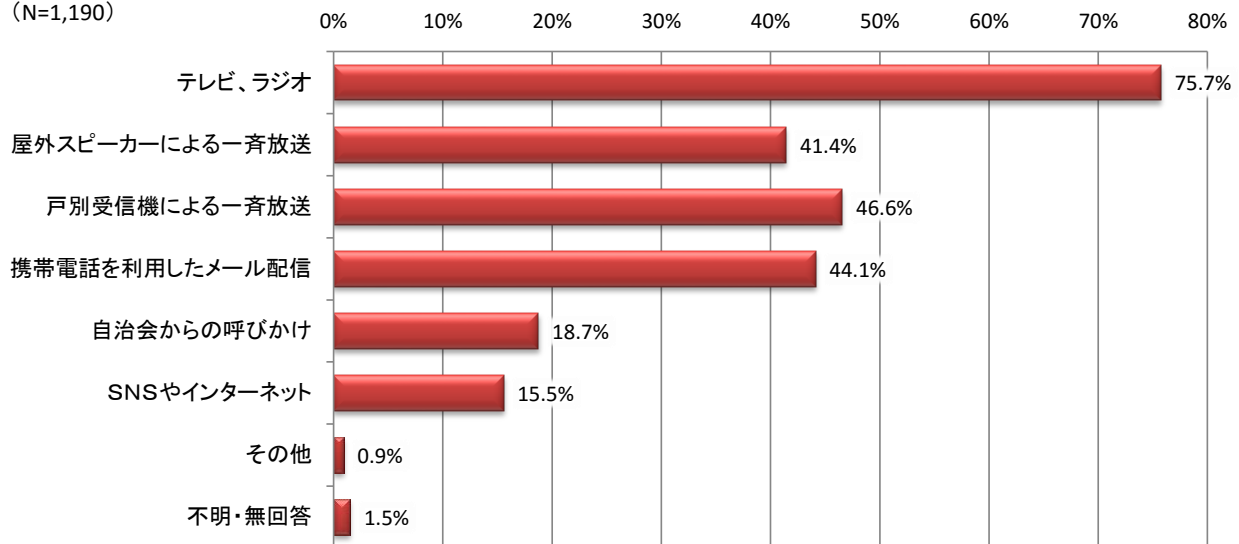


問 20 あなたは、災害発生時または災害が発生しそうなとき、どのような手段で情報（避難情報を含む）を得ていますか。〈〇は主なもの3つ〉

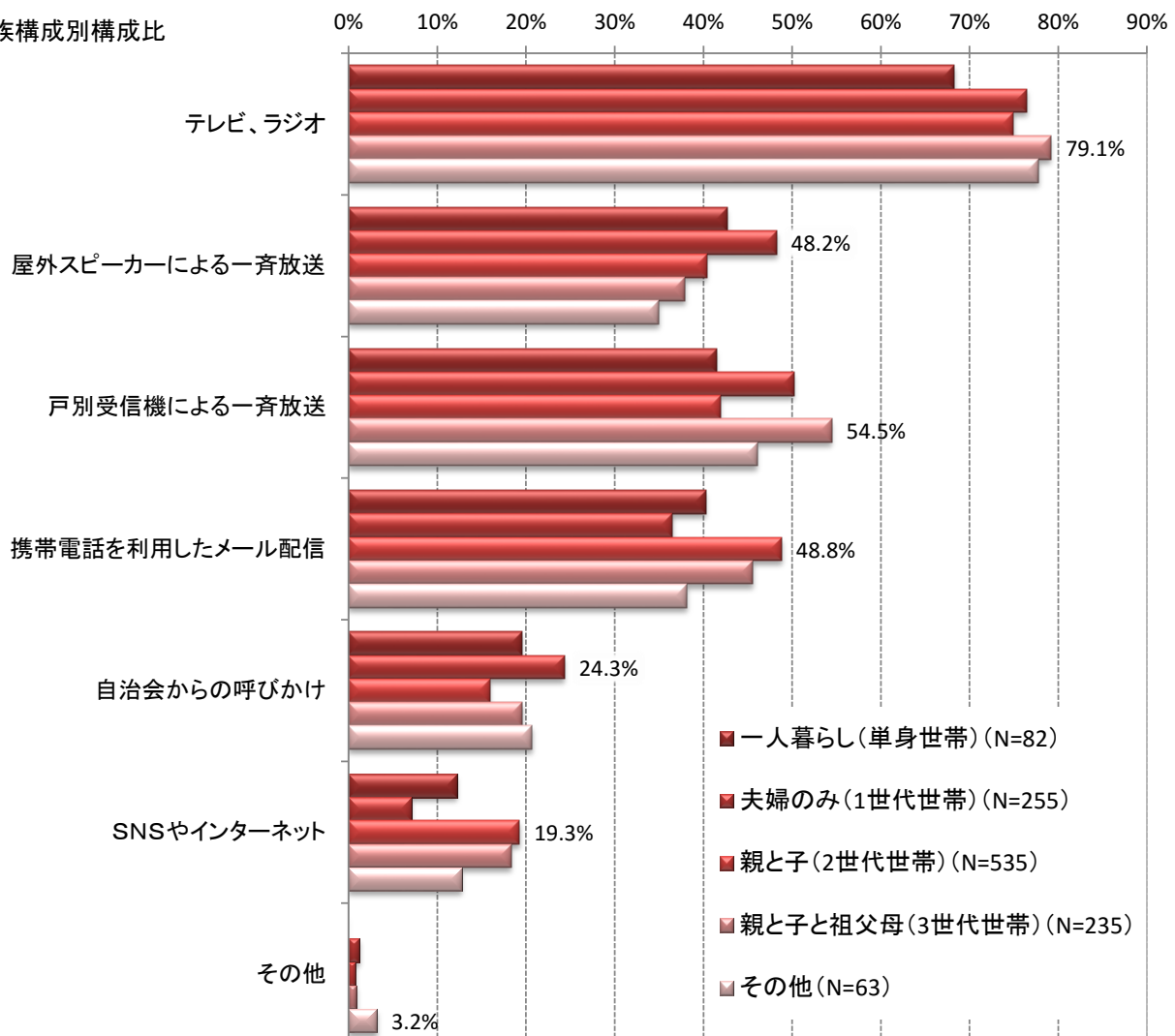
災害発生時の情報入手手段は、「テレビ、ラジオ」が75.7%と最も高く、次いで「戸別受信機による一斉放送」が46.6%となっています。

家族構成別に見ると、「戸別受信機による一斉放送」は「親と子と祖父母（3世代世帯）」で高くなっており、「携帯電話を利用したメール配信」は「親と子（2世代世帯）」で高くなっています。

(N=1,190)



家族構成別構成比

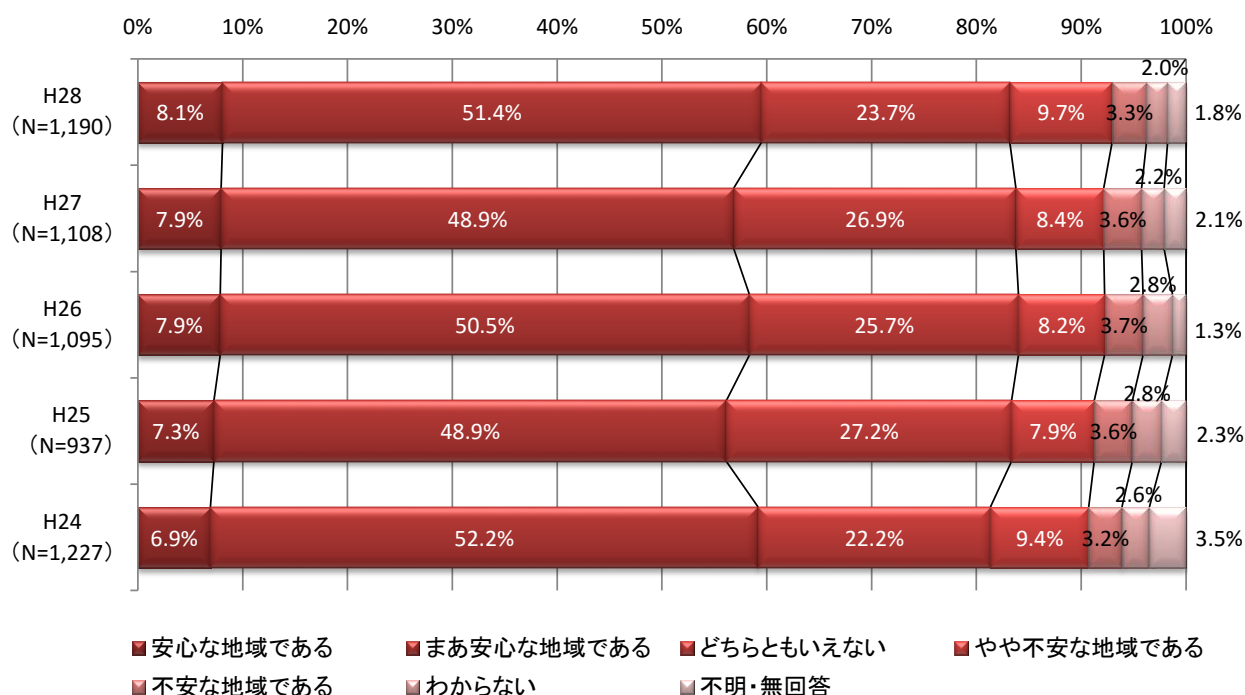


問 21 あなたが暮らしている地域は、犯罪や非行に対して安心な地域だと思いますか。 〈〇は 1 つ〉

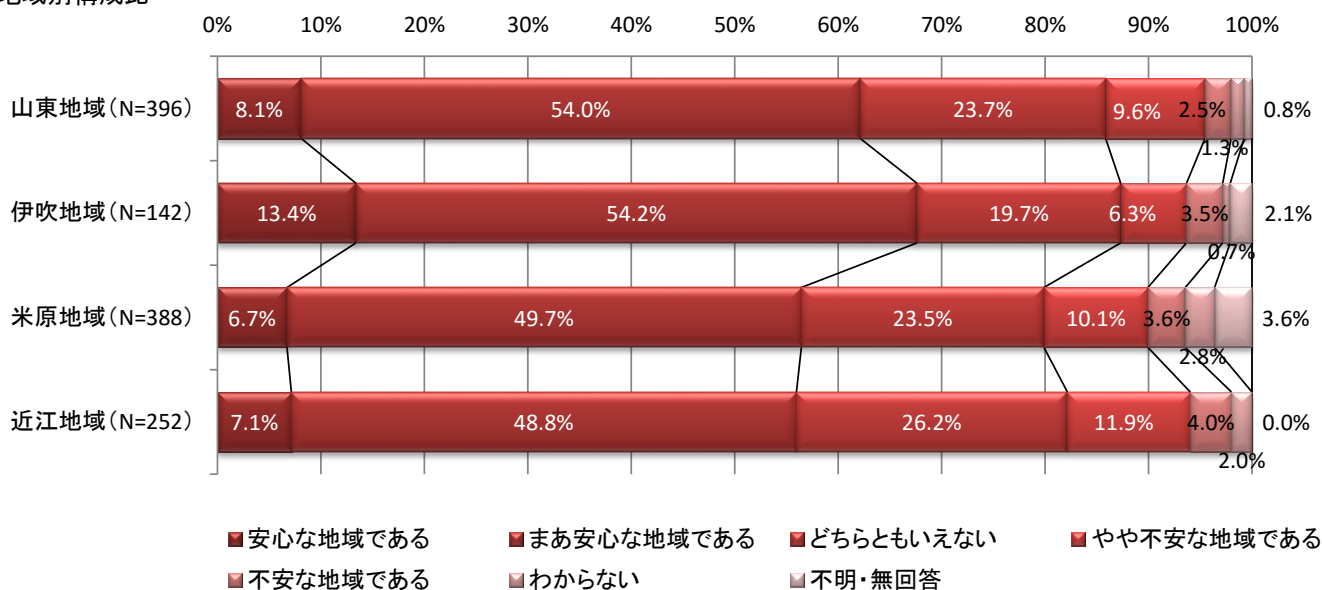
暮らしている地域は、犯罪や非行に対して安心な地域だと思うかについては、「安心な地域である」と「まあ安心な地域である」の合計は 59.5%と、「やや不安な地域である」と「不安な地域である」の合計の 13.0%を上回っており、安心な地域としての認識が高くなっています。

経年変化で見ると、平成 28 年度が最も『安心』（「安心な地域である」と「まあ安心な地域である」の合計）が高くなっていますが、5～6割台の市民が『安心』、1割強の市民が『不安』（「不安な地域である」と「やや不安な地域である」の合計）、2～3割の市民が「どちらともいえない」という状態で推移しています。

地域別構成比でみると、米原・近江地域では『安心』の割合が比較的低く、伊吹地域では高いことが分かります。



地域別構成比



問 22 あなたは、過去に商品の購入やサービス等の契約をしてトラブルになったことがありますか。〈〇は 1 つ〉

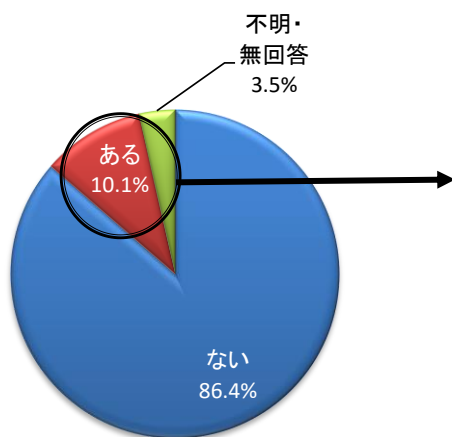
付問 1 【問 22 で「ある」と答えられた方】そのときあなたはこうされましたか。〈〇は 1 つ〉

消費生活に係るトラブルについて見てみると、約 1 割の市民が何らかのトラブルを経験しており、そのうち約 5 割の人が「自分または家族などが業者に連絡をして、解決できた」となっています。一方で、「自分または家族などが業者に連絡をしたが、解決できなかった」と「あきらめて何もしなかった」を合わせると、37.5%の人が解決できていない事実が分かりました。

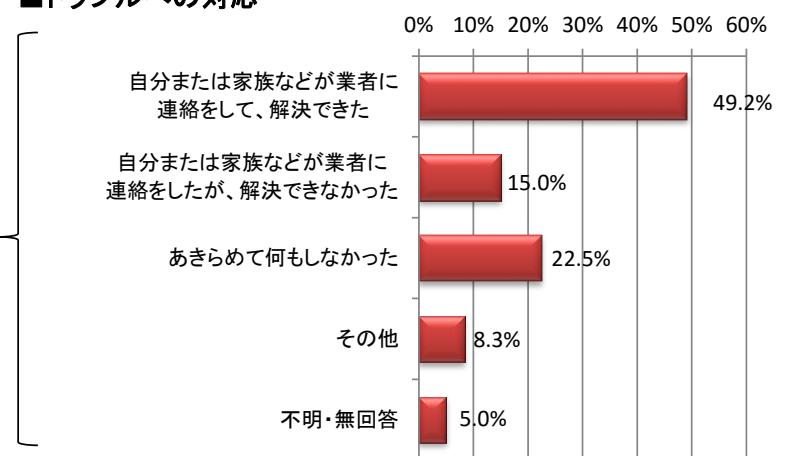
「その他」には、県や市の消費者センターに相談して解決したという意見がありました。

またトラブルの有無について年代別に見てみると、トラブルになったことが「ある」と回答した人の割合は 40 歳代と 50 歳代で比較的高くなっています。

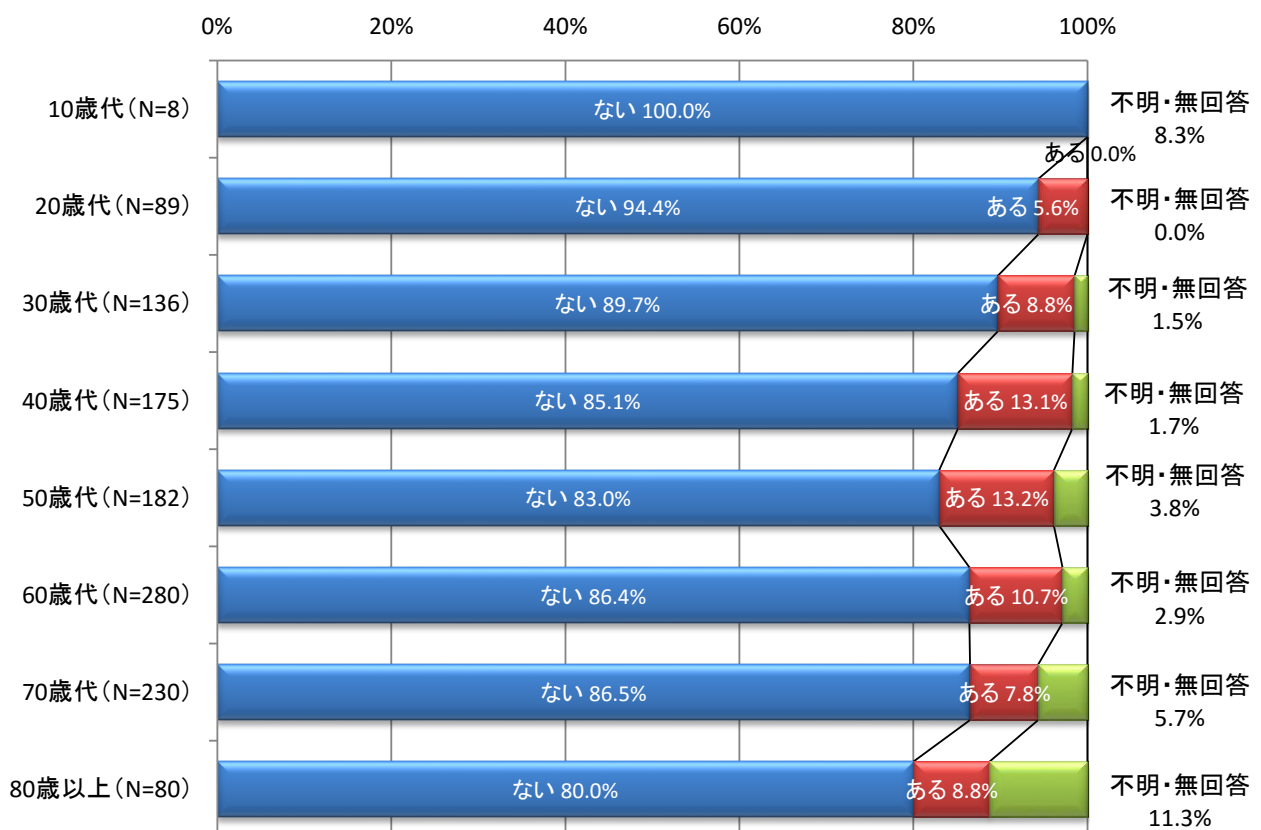
■トラブルの有無



■トラブルへの対応 (N=120)



トラブルの有無 年代別構成比

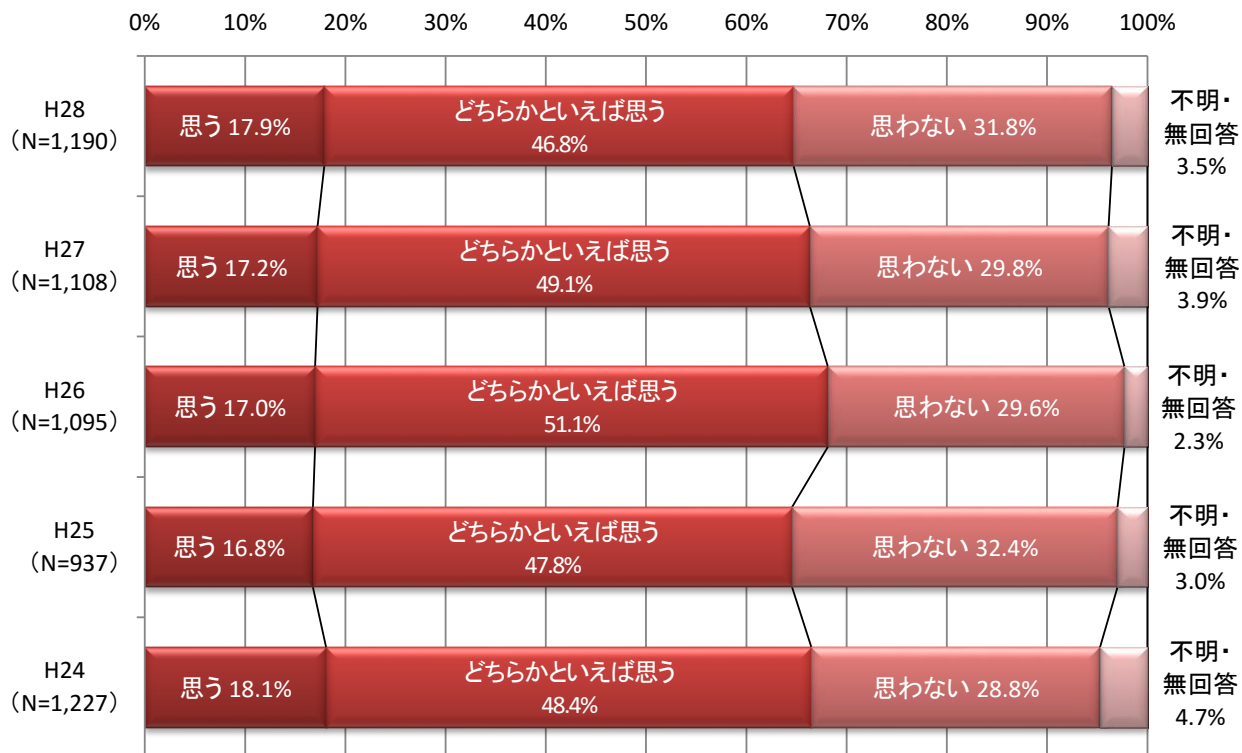


問 23 あなたは、米原市の水道水はおいしいと思いますか。〈〇は 1 つ〉

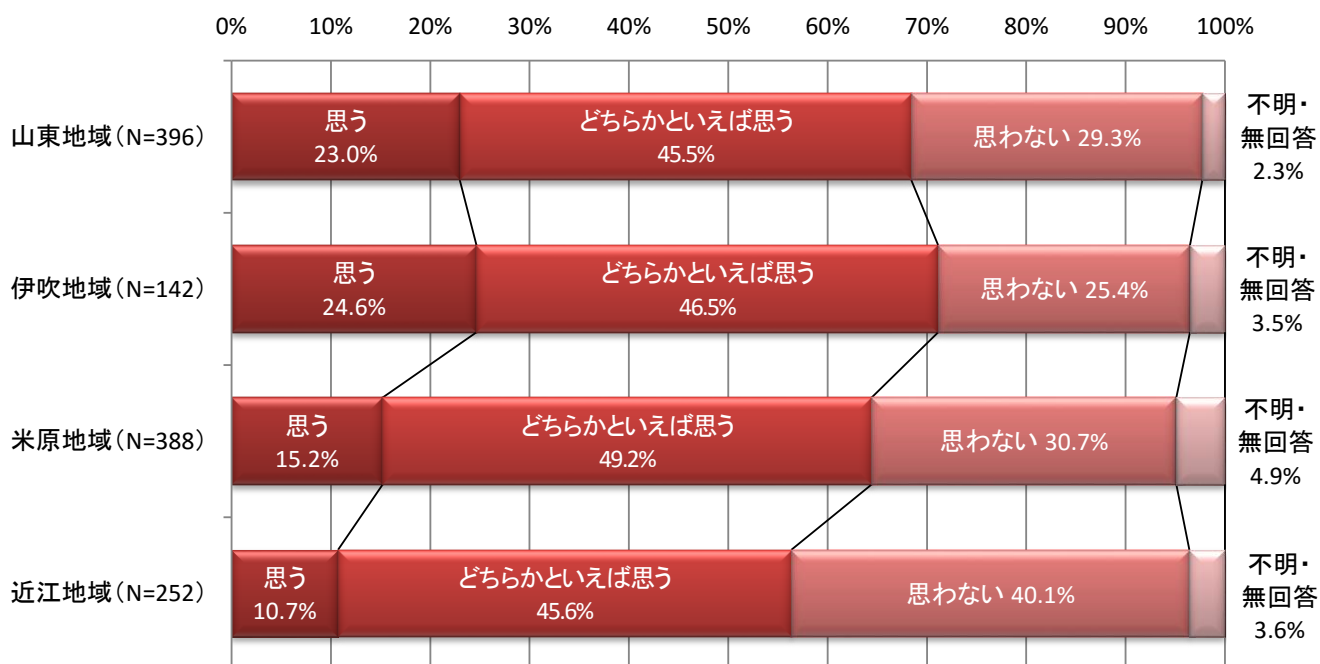
米原市の水道水はおいしいと思うかについて見てみると、「思う」が 17.9%、「どちらかといえば思う」が 46.8%と、64.7%の市民がおいしいと思っています。

経年変化で見ると、水道水をおいしいと「思わない」市民は、3 割前後で推移しています。

また、地域別構成比でみると、伊吹地域で「思う」人が最も多く「どちらかといえば思う」と合わせて 71.1%の人がおいしいと感じています。一方、近江地域では「思う」が 10.7%にとどまっています。



地域別構成比



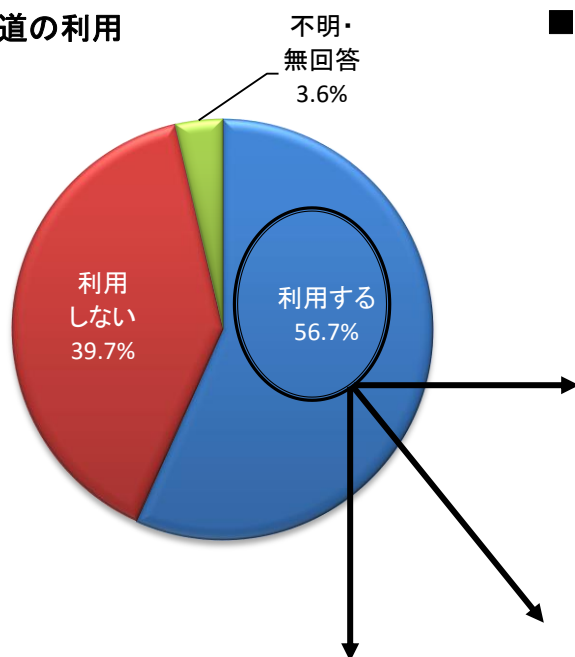
問 24 あなたは、移動の際に鉄道を利用されますか。またどの程度利用されますか。
 〈〇は 1 つ〉

付問 1 【問 24 で「利用する」と答えられた方】あなたが、利用する駅名とその駅までの
 の主な交通手段についてお答えください。〈〇は 1 つ〉

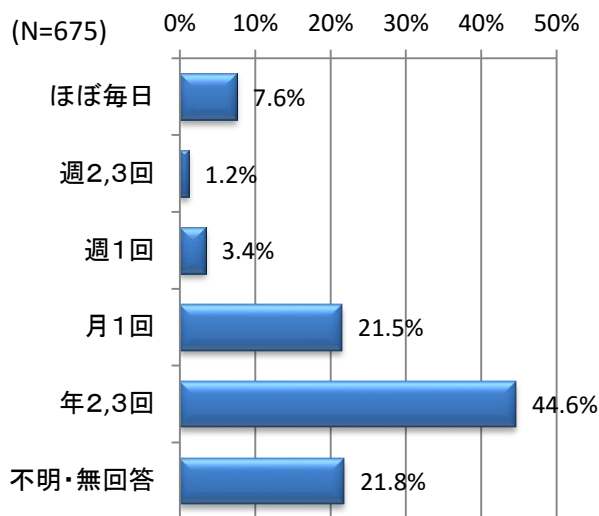
鉄道による移動については、56.7%の市民が鉄道を利用しており、その利用頻度は「月に 1 回」や「年
 に 2、3 回」が全体の 6 割以上を占めています。

主な利用駅は「米原駅」が 47.6%と最も多く、次いで「近江長岡駅」が 18.2%となっています。駅
 までの交通手段については、半数以上の人が自家用車で移動していることが分かります。それ以外の交
 通手段としては、徒歩が 21.3%、自転車が 10.1%となっています。

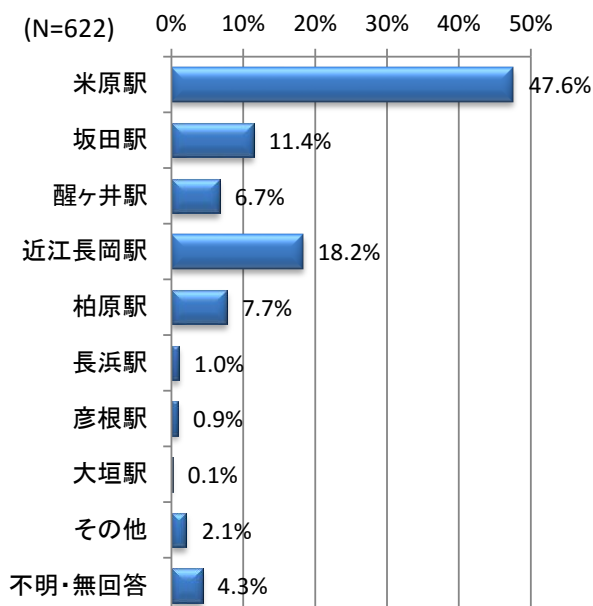
■鉄道の利用



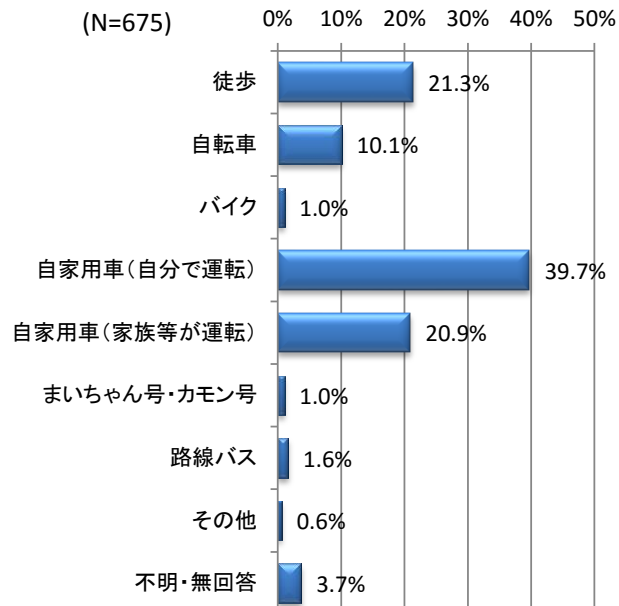
■利用頻度



■主な利用駅



■駅までの交通手段

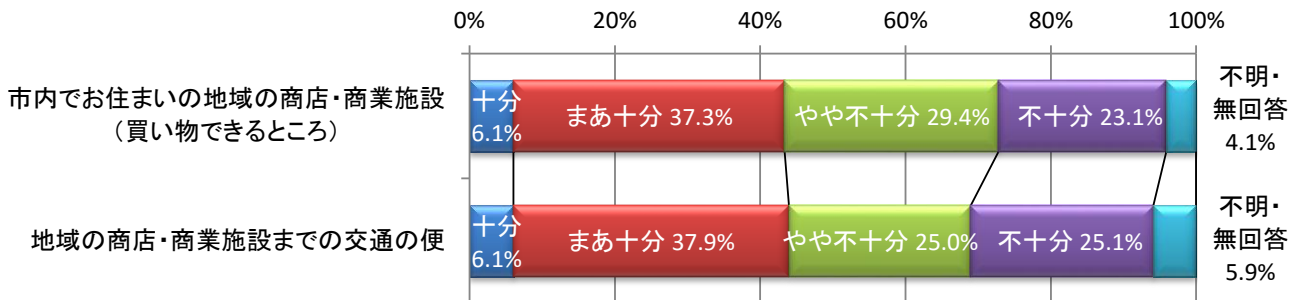


「5. 地の利を活かしたにぎわいのまち」に関する設問です。

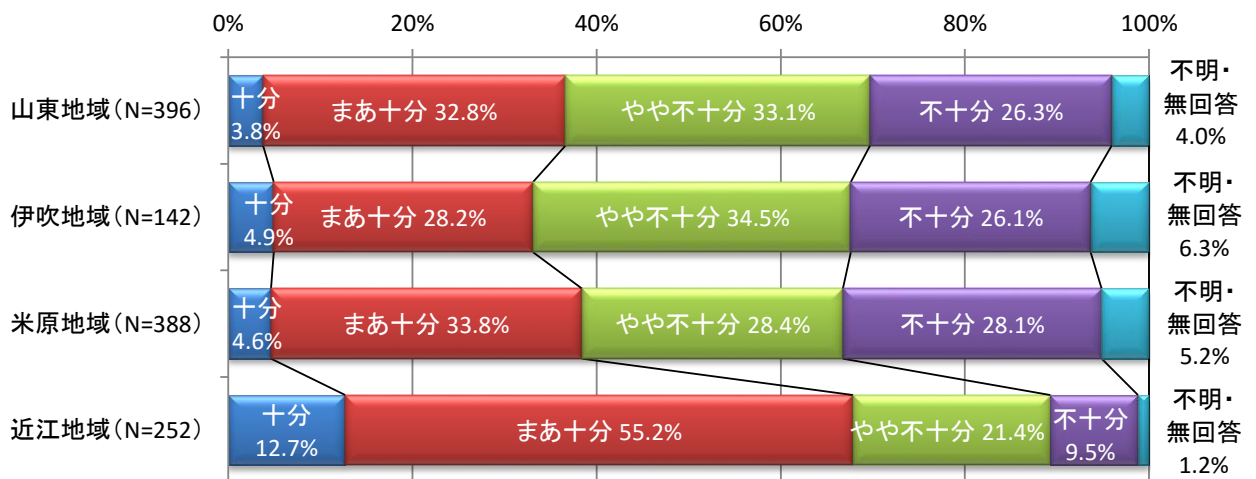
問 25 あなたは、日頃の買物等について、次の項目は十分だと思いますか。
〈〇はそれぞれ 1 つずつ〉

日常の買物の便については、どちらの項目も『不十分』（「不十分」と「やや不十分」の合計）と考えている人が約 5 割で、『十分』（「十分」と「まあ十分」の合計）と考えている人を上回っています。

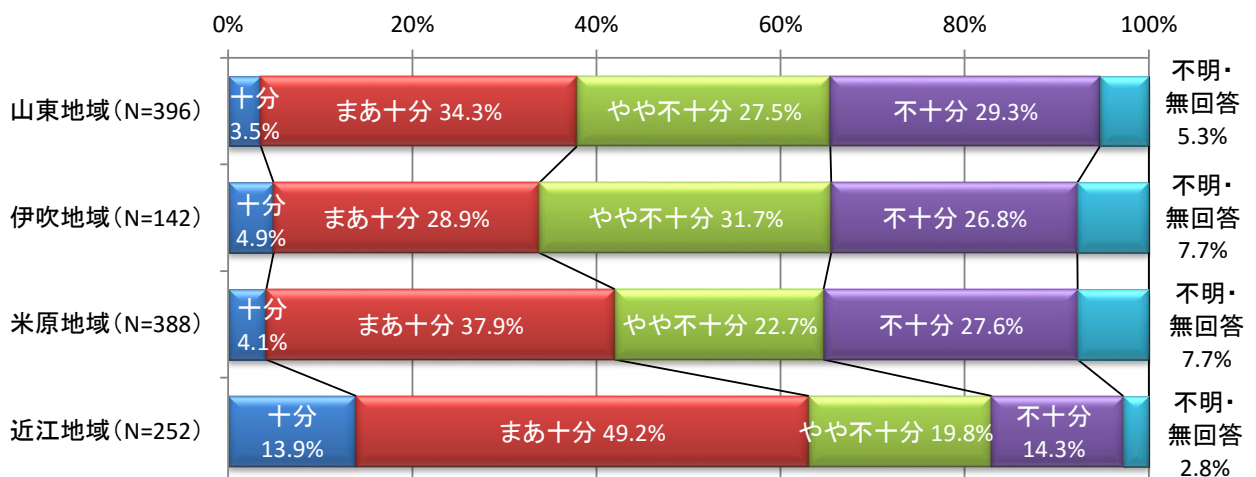
地域別で見ると、「市内でお住まいの地域の商店・商業施設（買い物できる場所）」については、近江地域で『十分』が高くなっていますが、他の地域は『不十分』のほうが高くなっています。「地域の商店・商業施設までの交通の便」についても、同様に近江地域以外では『不十分』と考える人の割合のほうが高くなっています。



■市内でお住まい地域の商店・商業施設（買い物できる場所）」



■地域の商店・商業施設までの交通の便

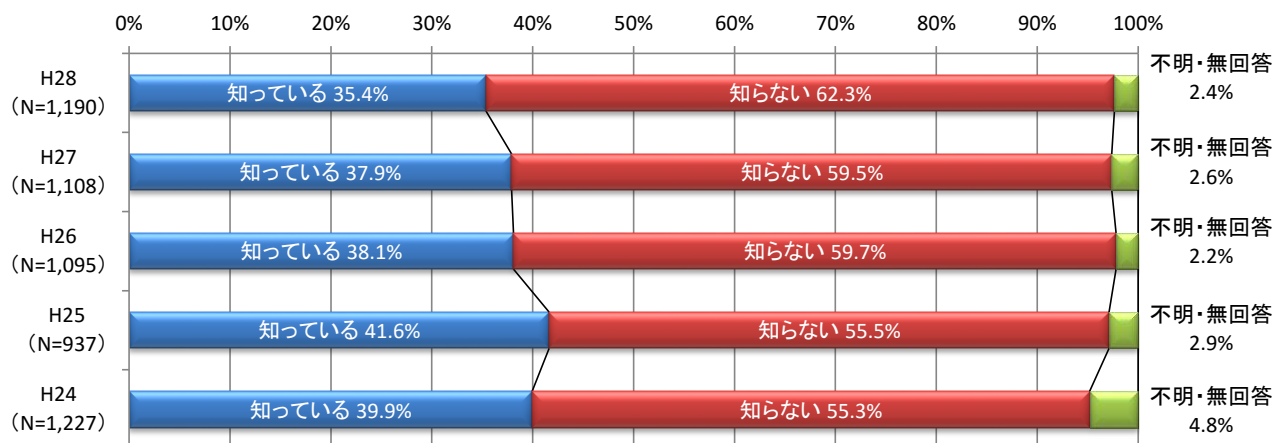


問 26 あなたは、「水源の里まいばら元気みらい条例」市全域を「水源の里」としていることをご存じですか。〈〇は 1 つ〉

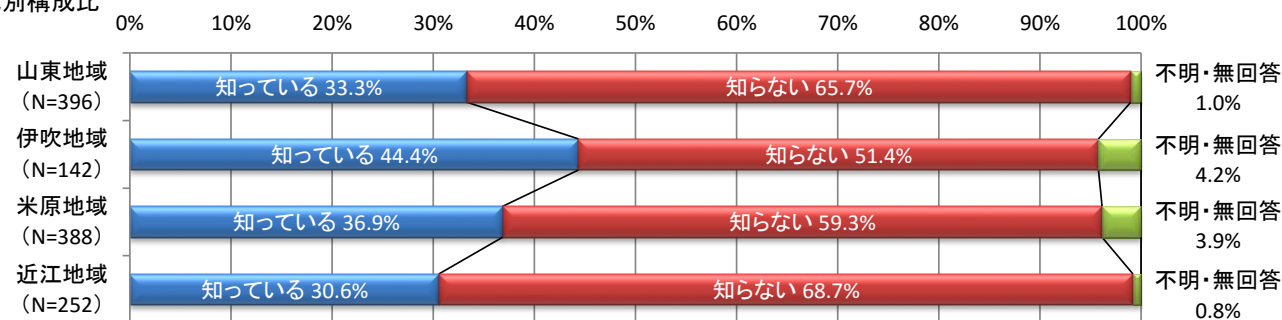
「水源の里まいばら元気みらい条例」で市全域を「水源の里」としていることの認知度について見てみると、「知っている」は 35.4%で、昨年度に比べると 2.5 ポイント減となっています。

経年変化で見ると、「知っている」は平成 25 年度をピークに減少傾向にあります。

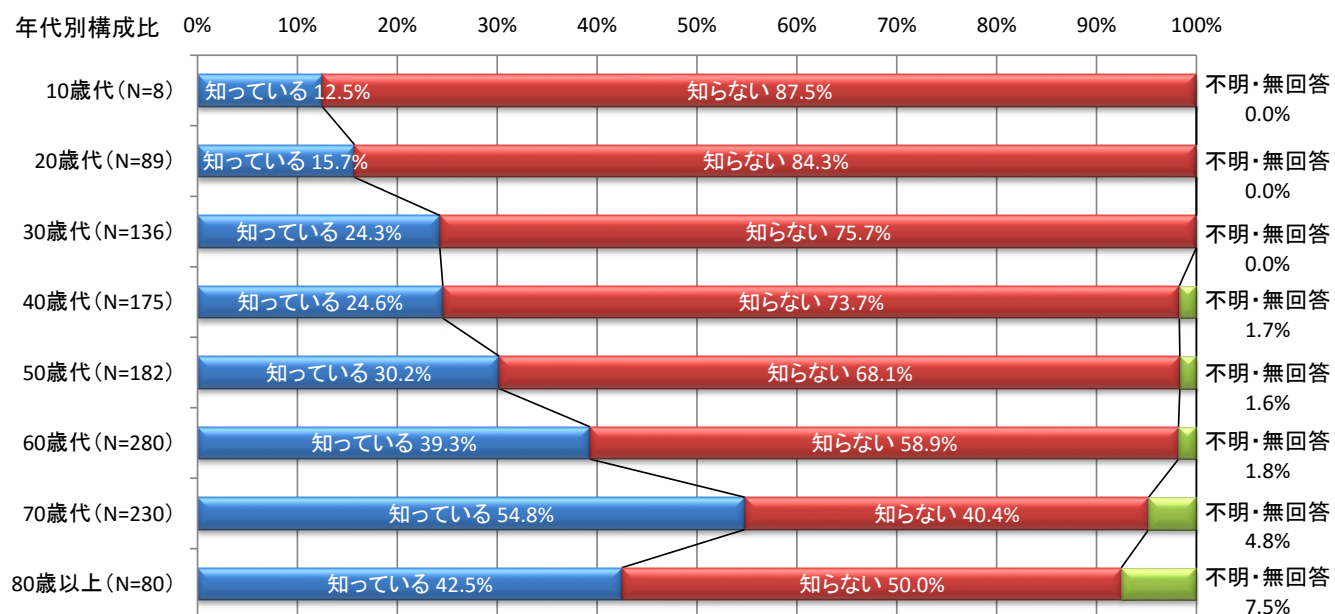
地域別構成比では伊吹地域が 44.4%と最も認知度が高くなっています。また、年齢別構成比では 70 歳代が 5 割を超えて最も高く、年齢が下がるにつれて認知度が下がる傾向にあります。



地域別構成比

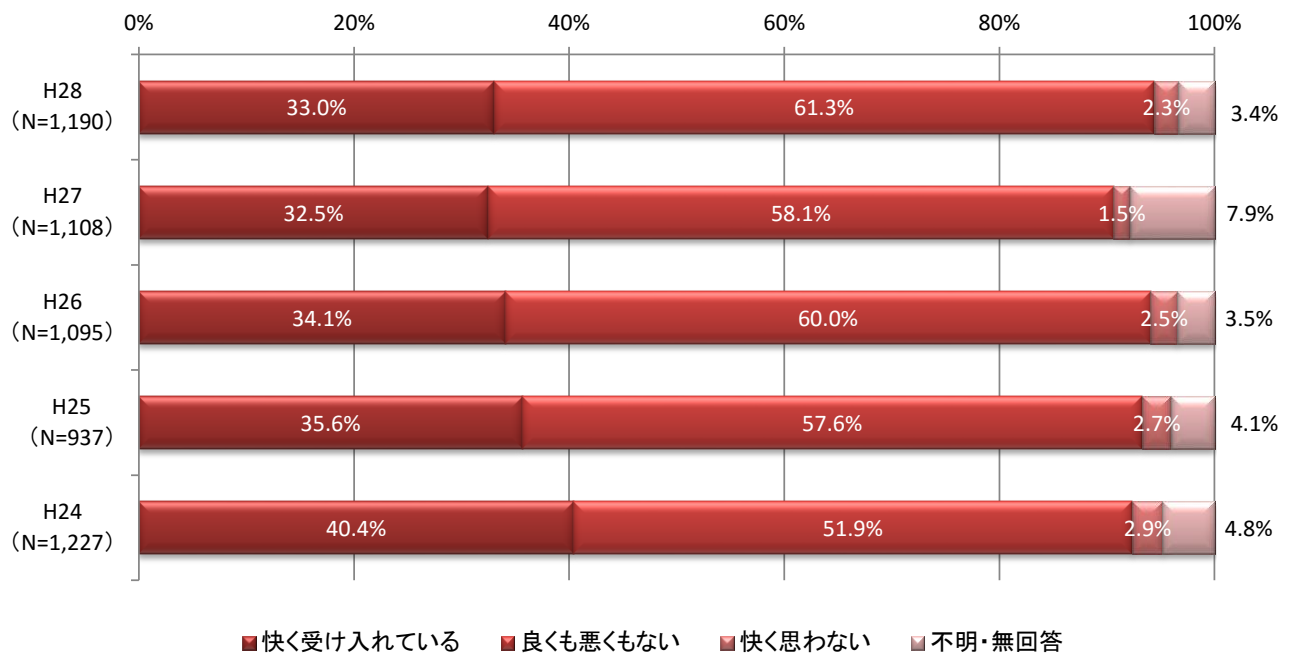


年代別構成比



問 27 あなたは、米原市を訪れる観光客などお客さんを快く受け入れていますか。
〈〇は 1 つ〉

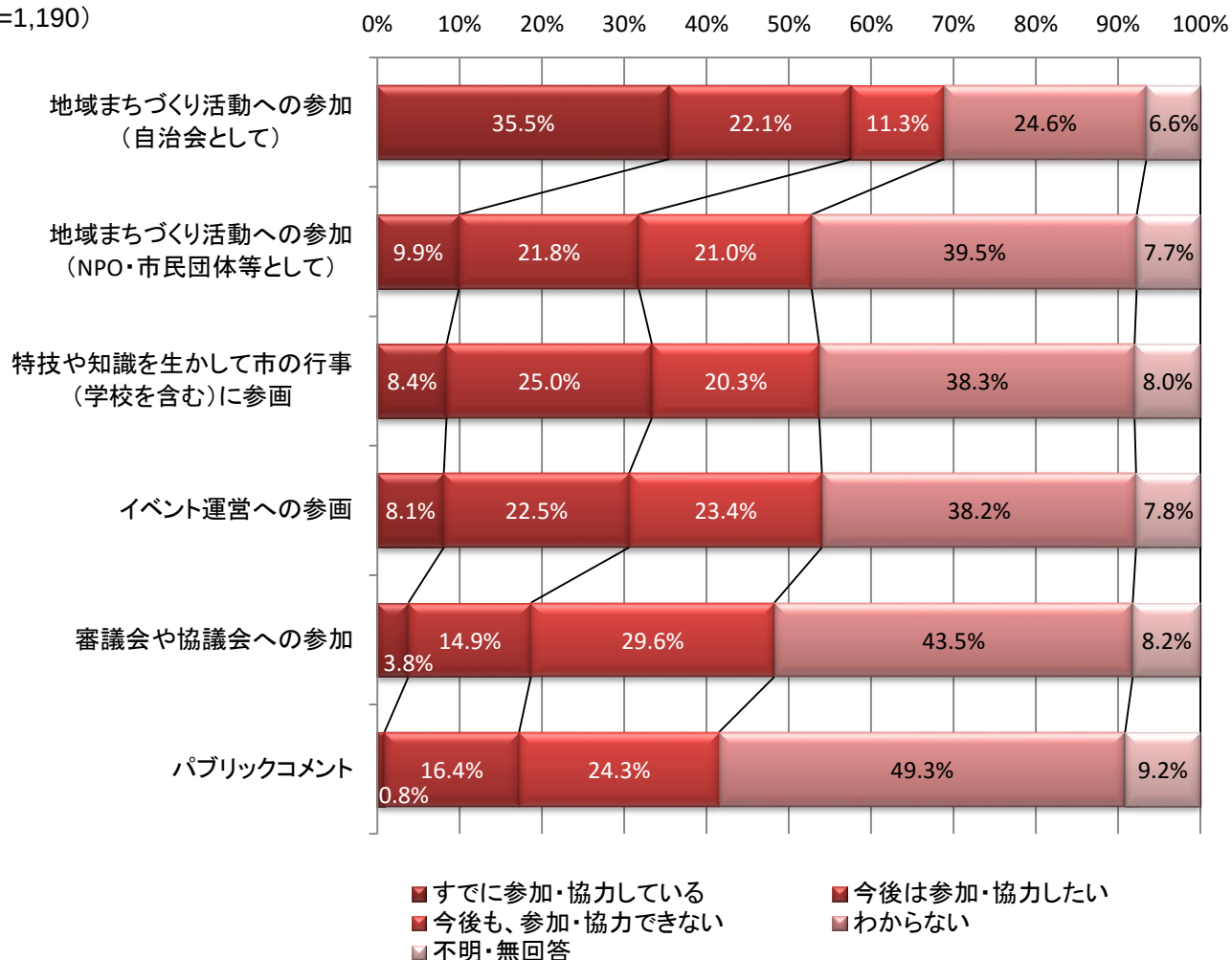
米原市を訪れる観光客などのお客さんを快く受入れているかについて見てみると、「良くも悪くもない」が61.3%と半数以上を占めています。「快く受入れている」は33.0%と昨年度から0.5ポイント増となっていますが、引き続き観光客などの受入れ意識を高める必要があります。



問 28 あなたは、市民と行政が協力して行う取組について、これまでに参加・協力したことがありますか。また、参加・協力したことがない方は、今後のお考えについてお答えください。〈〇はそれぞれ 1 つずつ〉

市民と行政が協力して行う取組についての参加・協力状況について見てみると、「わからない」として回答が多い中で、「地域まちづくり活動への参加（自治会として）」では、「すでに参加・協力している」が 35.5%、「今後は、参加・協力したい」が 22.1%と、5 割以上の市民が取組に対して前向きな回答をしています。

(N=1,190)

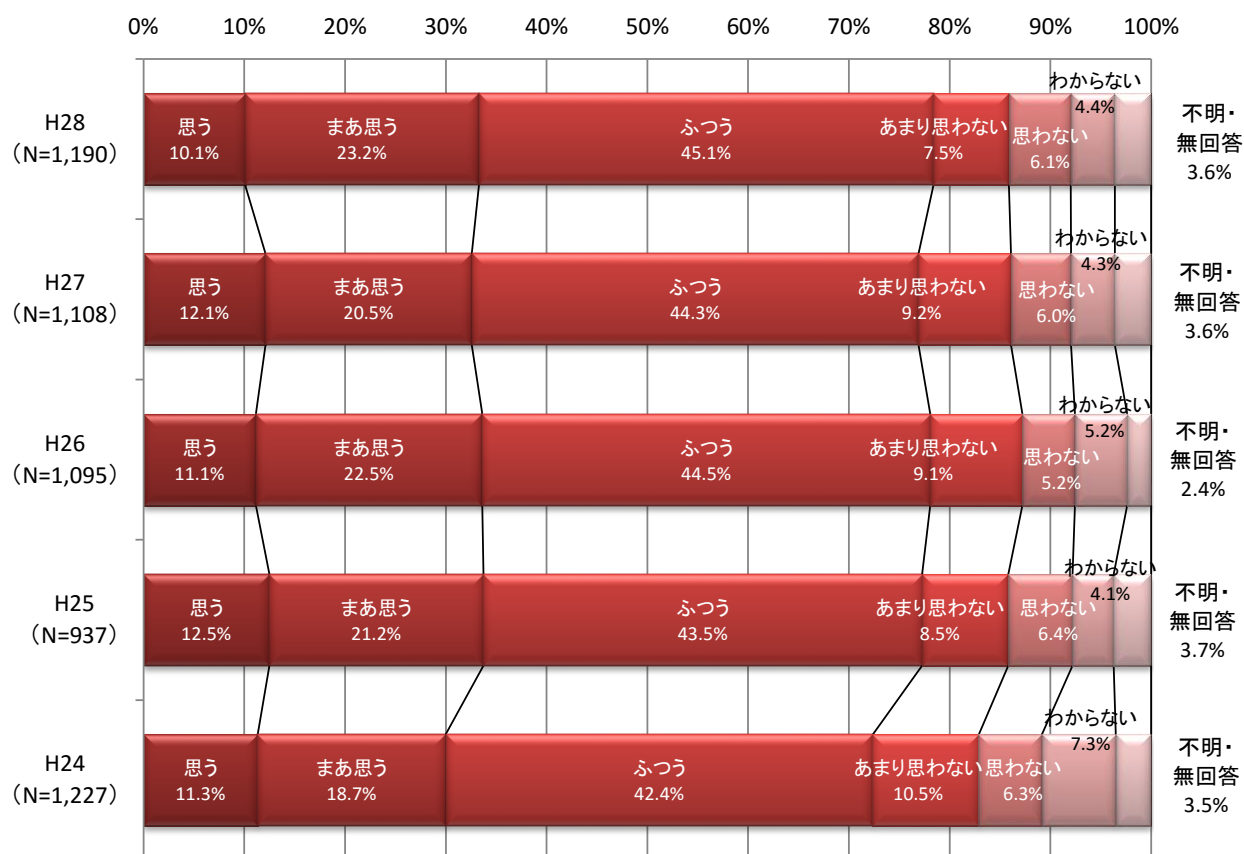


問 29 あなたは、市役所職員の対応はよいと思いますか。〈〇は 1 つ〉

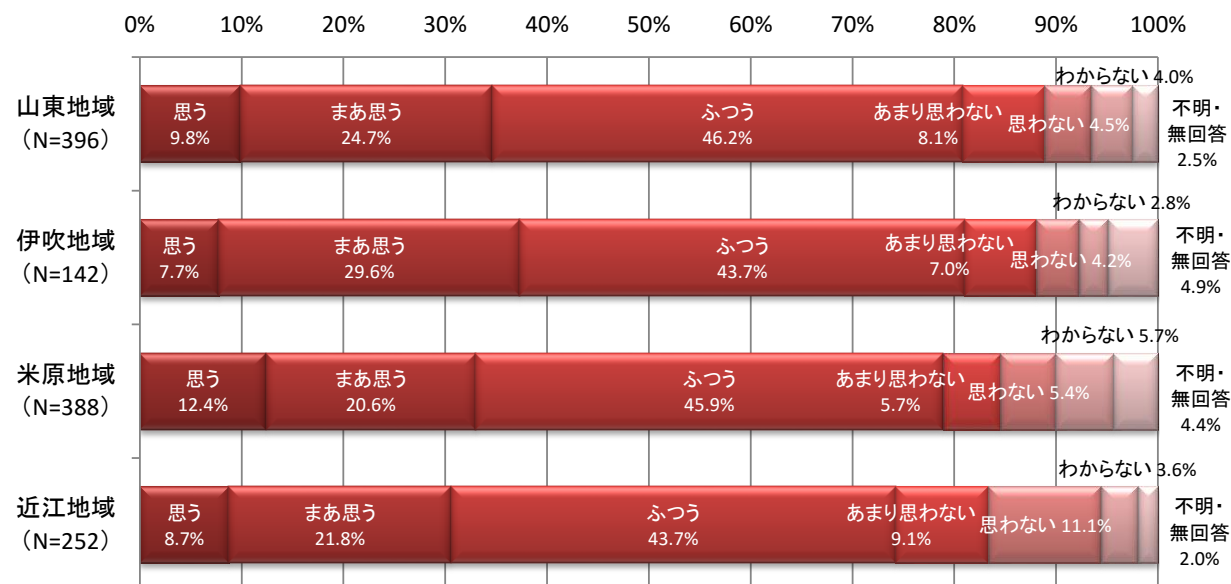
市役所職員の対応の印象については、「ふつう」が 45.1%と最も高くなっています。

経年変化で見ると、よいと「思う」、「まあ思う」市民は平成 25 年以降 3 割強程度で推移しており、「あまり思わない」、「思わない」市民は平成 24 年以降 1 割半程度で推移しています。

また、地域別構成比では、伊吹地域で「思う」、「まあ思う」の合計が比較的高く、近江地域では「思わない」、「あまり思わない」の合計が比較的高くなっています。



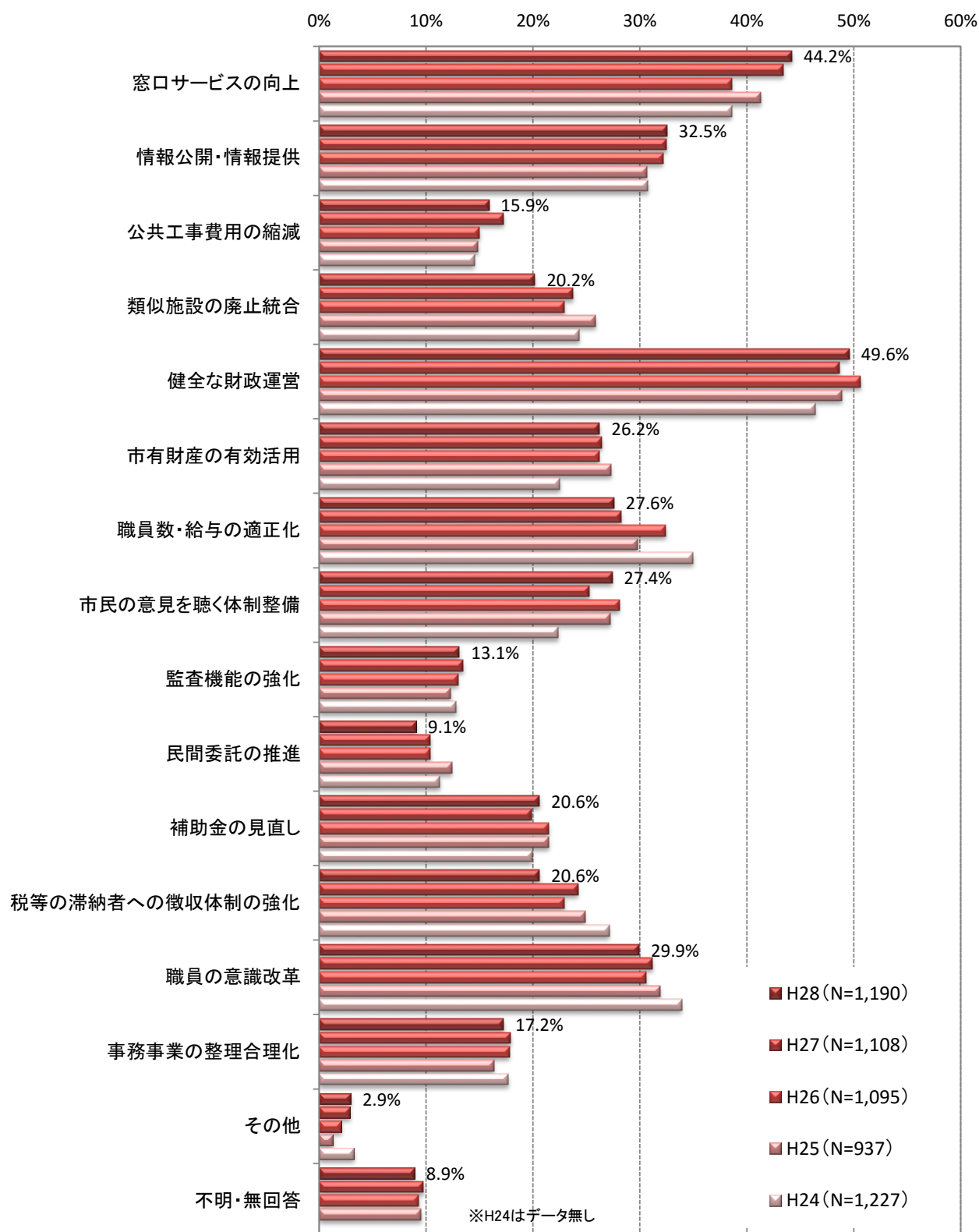
地域別構成比



問 30 あなたは、行財政改革を推進する上で、何に重点をおいて実施するべきとお考えですか。〈あてはまるものすべてに○〉

行財政改革を推進する上で、何に重点をおいて実施するべきかについては、「健全な財政運営」が49.6%と最も高くなっています。次いで「窓口サービスの向上」44.2%、「情報公開・情報提供」32.5%、「職員の意識改革」29.9%の順となっています。

また経年変化で見ると、「健全な財政運営」を望む声がこれまで最も多く、また「窓口サービスの向上」を望む声についても増加傾向にあることが分かります。

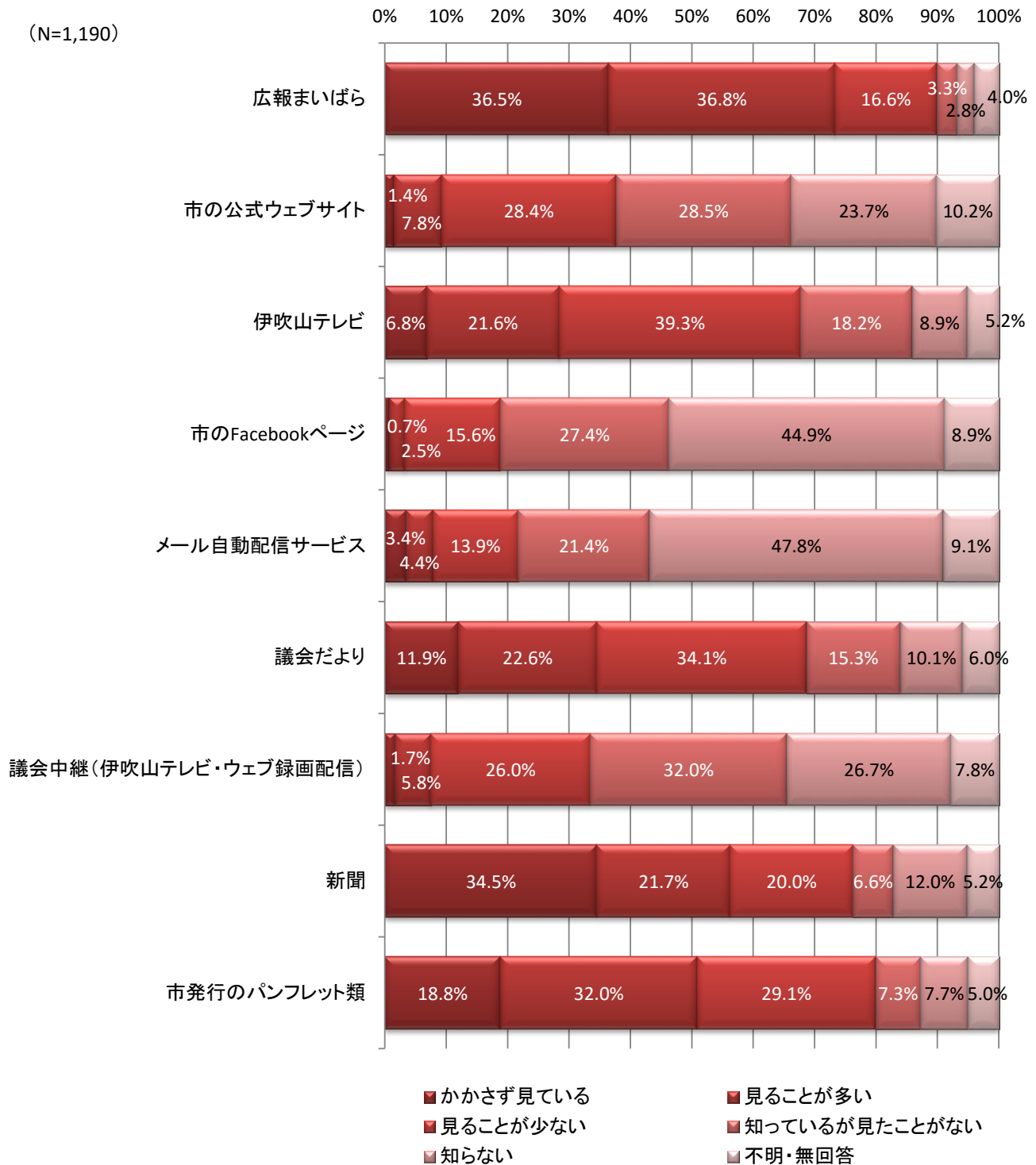


問 31 あなたは、市が発信している次の情報を、どの程度ご覧になりますか。1～10のそれぞれの項目についてお答えください。〈〇はそれぞれ1つずつ〉

市が発信している情報を、どのような頻度で得ているかについて見てみると、「かかさず見ている」が最も多いのは「広報まいばら」で36.5%となっています。

一方で、「市のFacebookページ」、「メール自動配信サービス」については、「知らない」が4割台と、情報源として十分な認知を得られていない結果となっています。

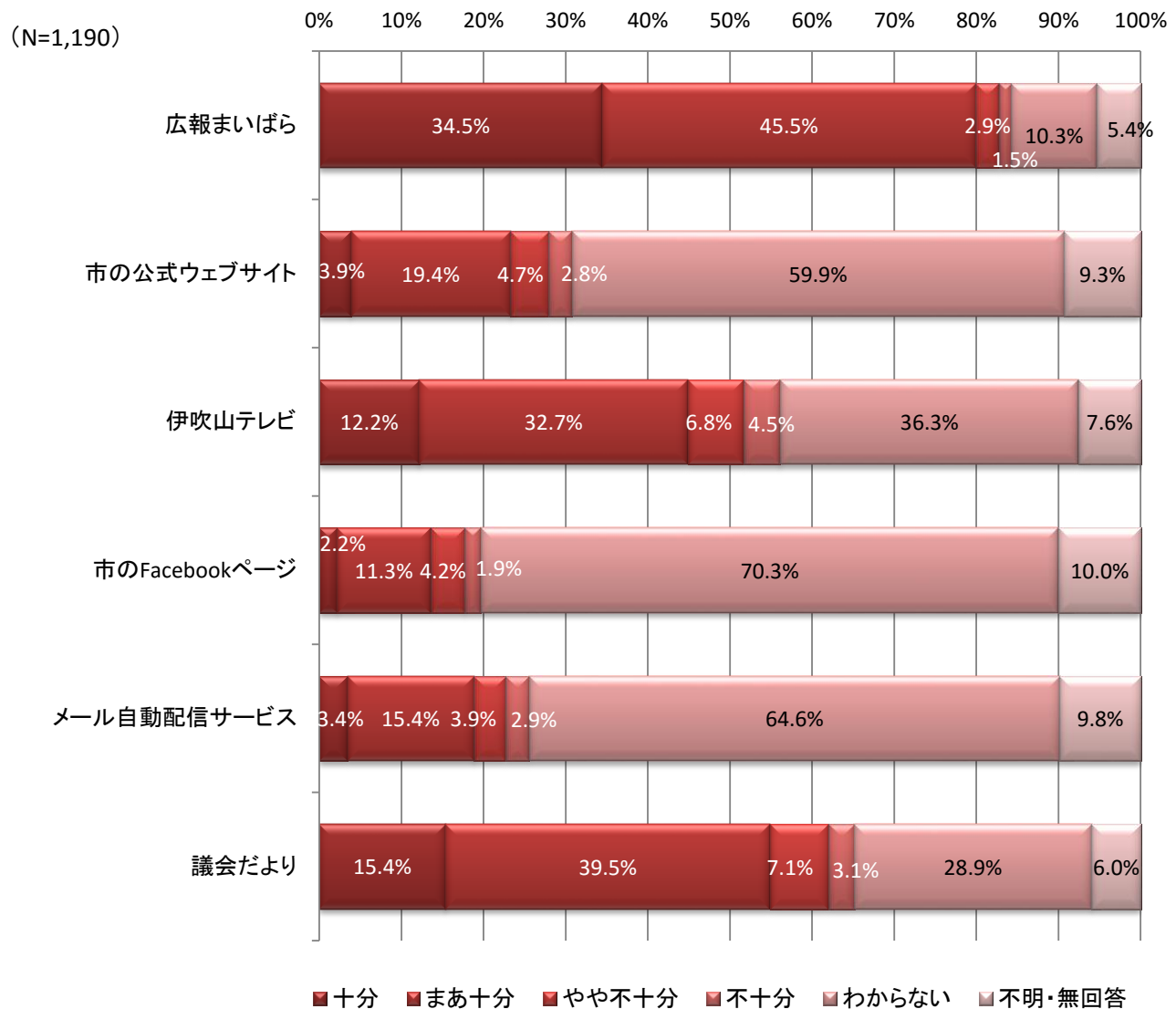
(N=1,190)



問 32 あなたは、次の市政情報媒体について、市からの発信頻度は適当であると思いますか。1～6 のそれぞれの項目についてお答えください。〈〇はそれぞれ 1 つずつ〉

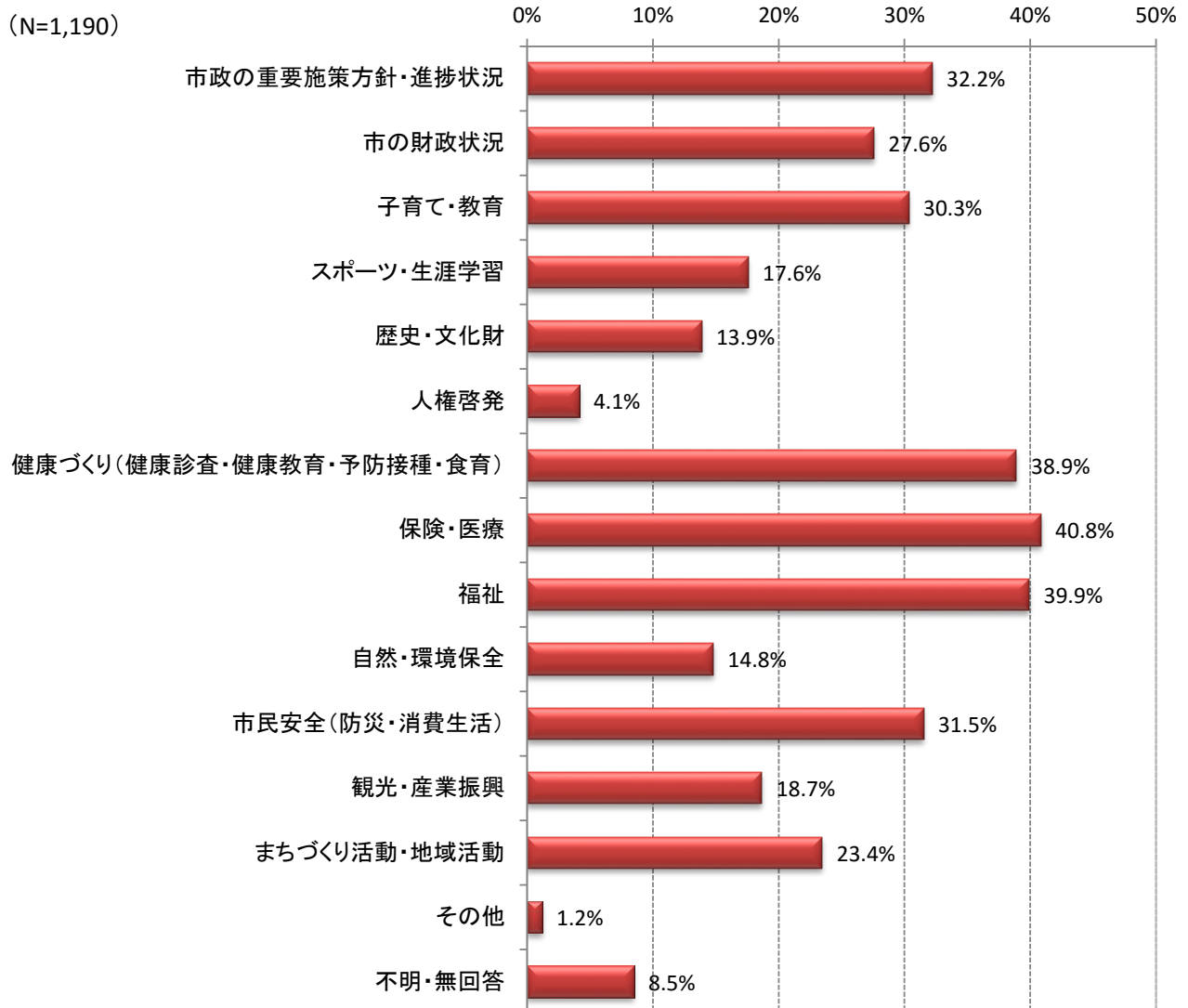
各市政情報媒体に関する市からの情報発信頻度の十分度を見てみると、「広報まいばら」については、「十分」と「まあ十分」の合計が8割と最も高くなっており、「伊吹山テレビ」と「議会だより」では、「十分」と「まあ十分」の合計が5割前後となっています。

一方で、「市の Facebook ページ」、「メール自動配信サービス」、「市の公式ウェブサイト」については、「わからない」が半数以上を占め、問 31 での認知度の低さと関連した結果となっています。



問 33 あなたがもっと知りたい市政情報はなんですか。〈あてはまるものすべてに○〉

知りたい市政情報については、「保険・医療」が40.8%と最も高く、次いで「福祉」が39.9%、「健康づくり（健康診査・健康教育・予防接種・食育）」が38.9%となっています。



問 34 市では、市民の皆さんから広く意見を伺うことができる様々な取組を行っていますが、さらに意見を述べやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。〈あてはまるものすべてに○〉

市民が市政に対する意見を述べやすくするために必要なことについて見てみると、「インターネット・手紙・ファックスなどを利用して意見が言えるシステムの充実」が45.2%と最も高く、次いで「市民意識調査やインターネットを使ったアンケート調査による市民意識の把握」が30.4%となっています。

経年変化で見てみると、低下しつつある項目が多くなっていますが、上位2項目については昨年度と比較して高くなっています。

